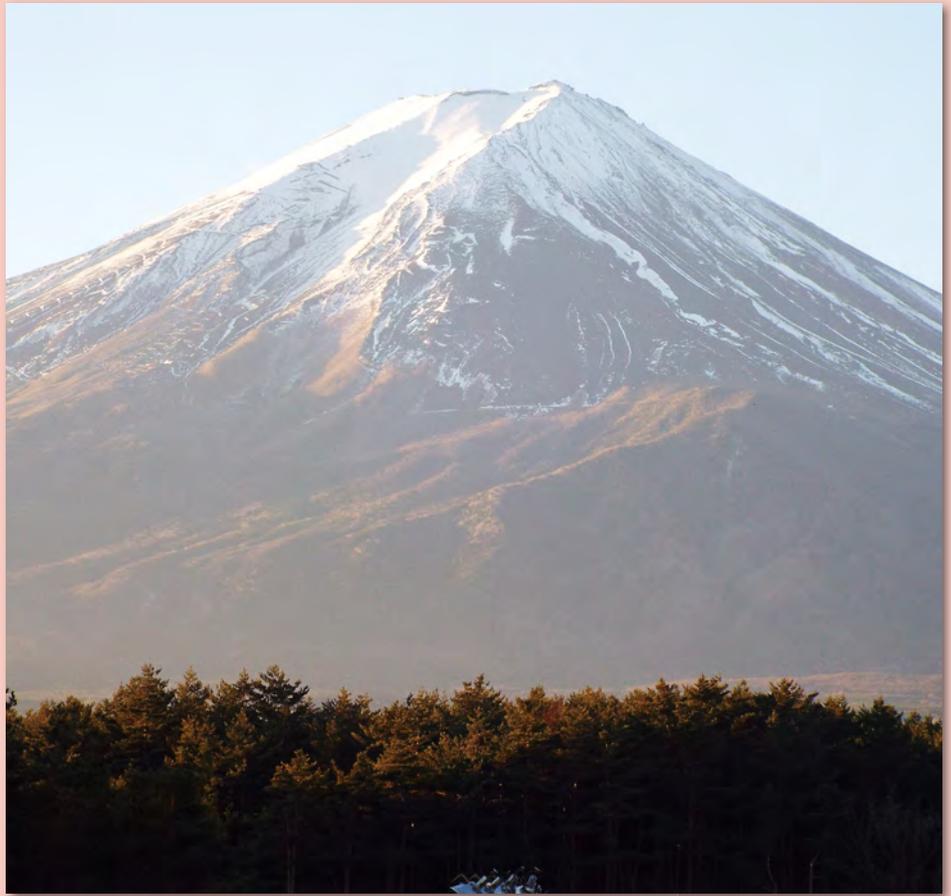


*Tokyo Dental College
Alumni Association*



目 次

グラビア ふるさと自慢

会員往来

巻 頭 言	1
新役員紹介	2～3
お知らせ	4～7
120th Junior Residents 夢・未来	8～11
会 務	12～19
理事会のうごき	20
事業推進部	21
準会員のページ	22
支部のうごき	23～34
クラス会だより	35～39
OB会・グループ・サークルだより	40
庶務日誌	41
逝去会員	42
追 悼	43
投稿規定	44
へんしゅうこうき	45

表紙写真の説明

- | | |
|--|---|
| ・「新春の富士山」
日時：2016年1月4日撮影
場所：山梨県富士河口湖町
昭和39年卒 中信支部 片倉 恵男先生 撮影 | ・「江ノ島シーキャンドルライトアップ」
日時：2016年1月31日撮影
場所：神奈川県藤沢市江ノ島
昭和60年卒 横浜中央支部 皆川 雅彦先生 撮影 |
| ・「梅のつぼみ、立春近し」
日時：2013年1月29日撮影
場所：特別名勝 栗林公園
平成8年卒 香川県支部 鳥養 智子先生 撮影 | ・「オリオン座と富士山」
日時：2015年12月29日撮影
場所：山中湖
昭和58年卒 大学支部 古澤 成博先生 撮影 |
| | ・「世界遺産の韮山反射炉」
川崎水橋会会員家族レクリエーションより |

公園めぐり

江戸川

江戸川区は東に江戸川、西に荒川と中川が流れ、南は海に面し水に囲まれた南北に長い区です。以前は陸の孤島とも呼ばれていました。

その江戸川区で圧倒的な東京一があります。それは意外なことに公園の面積で、756haとなっています。2位の江東区、3位の足立区を足した面積より広がっています。一番大きな公園は「日本の渚百選」に選ばれた葛西海浜公園です。園内には日本有数の水族館でマグロが勇ましく回遊していることで有名な葛西臨海水族園があります。鳥類ゾーンでは野鳥観察



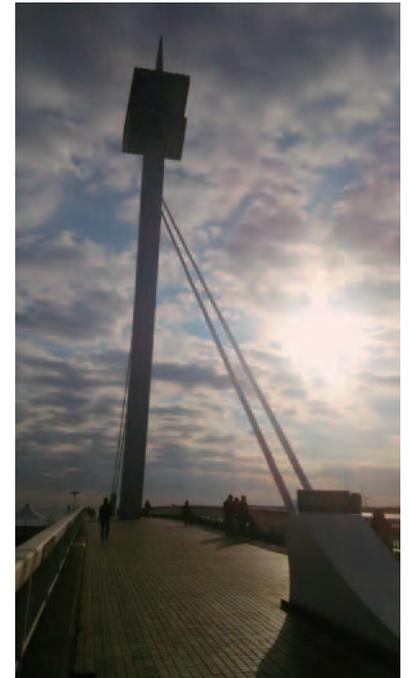
大観覧車

ができます。芝生広場ゾーンでは日本一の大きさを誇るダイヤと花の大観覧車があります。付近では水仙が綺麗に咲いていました。西なぎさには葛西渚橋を渡っていくことができます。そこには砂丘があり磯遊びができます。

またここから近い北葛西には行船公園があります。和風庭園と数寄屋造りの源心庵があり茶会や句会等に使用されています。

臨海部の大公園以上に江戸川区の公園を特徴づけているのが、区内に張り巡らされた水と緑のネットワークです。その一号が、古川親水公園です。ドブ川が緑豊かな清流に蘇りました。親水公園が5箇所あり、親水緑道は18路線あります。夏には子供たちの歓声と水しぶきが上がります。

このように公園が充実した江戸川区ですが行政ではさらに子育て支援を充実させています。そして未婚率が低く子供の数が一番多いです。その結果平均年齢は23区一の若さを誇ります。さらに一人暮らしの高齢者の割合も最低で三世帯同居の割合は最高です。要介護・要支援認定率が23区内最低でお年寄りが元気です。過去の雑誌の統計では住みたい街のランキングではひとつも該当がないのですが住んで良かった街では江戸川区



葛西渚橋

は3つのエリアが選ばれていました。

この江戸川区ですが東北大地震では義援金額が23区内1位で2位以下に2倍以上の大差をつけたそうです。23区内で所得は低いが家族で助け合いながら生活している江戸川区の人々。一方所得は高いが離婚率が高く競争を強いられている人々。どちらが良いか単純には比較できませんが幸福感に満たされている人が多い事が義援金の多さに繋がっているのでしょうか。ビバ江戸川！

(昭和60年卒 高木康正)

会 員 往 来

私 の 趣 味

東海大学医学部外科学系口腔外科学領域 教授

太 田 嘉 英 (昭和60年卒)

私が高校生の頃、そこそこの街であれば必ずジャズ喫茶がありました。ほとんどのジャズ喫茶にはJBLの大きなスピーカー、大量の漫画本そしてまずいコーヒーがありました。最大の特徴はコーヒー1杯で何時間粘っても決していやな顔をされなかったこと。ジャズには何の興味もなかったのですが勉強嫌いであった私がサボる場所としてジャズ喫茶に入り浸るうち、いつしかジャズファンになっていました。

東京歯科大学に入学しすぐにジャズ研究会に入りました。楽器の経験はほとんどなかったのですが、ビッグバンドでテナーサクスを吹きました。ビッグバンドジャズとは映画スイングガールズで描かれた形式で、管楽器とリズムセクションからなる総勢17名以上で構成される色彩豊か、迫力満

点のジャズアンサンブルです。サクスは金属でできていますが、葦から作られたリードを振動させることによって音を出すことから木管楽器に分類されます。ビッグバンドのサクスセクションは音の高いほうから順にアルト、テナー、バリトンで構成されます。少し低い男性的で豪快さと甘さのある響きが好きでテナーを選びました。当時のジャズ研究会のビッグバンド名はオーバーヒー



テナーバトル (ソロの掛け合い)



世界的トランペッターのエリック宮城さんボサ・ノヴァの女王王誕生とささやかれメジャーな活動を展開するボーカリスト、グレースマーヤさんをゲストに迎えた15周年記念リサイタルのチラシ。



学生時代、披露宴での演奏 (卒業アルバムより)



大盛況だった15周年記念リサイタル

ト・オーケストラで、残念ながら人数不足から解散となってしまいましたが、現在OB会では白熱したセッションが行われ、またライブハウスなどで活躍中の先生も多数いらっしゃることで、母校では新たに結成されたビッグバンド、リトルサウンズ・オーケストラが大活躍と聞き大変うれしく思っています。私は大して上達はしなかったものの、音楽性に優れた先輩後輩たちのおかげで何とか楽しく演奏することを覚えました。オーバーヒート・オーケストラでは謝恩会、結婚式、ダンスパーティなどの各種イベントに出演させていただきました。故坂本 九さんのバックバンドとして演奏や、関根勉さんがまだ駆け出しでラビット関根として司会をしていたイベントへの出演など、当時のOBや先輩たちの導きですごい経験をさせていただきました。現在、講演をさせていただく機会が多くなりましたが、人前で何かを訴えるということは音楽でも講演でも全く一緒、この頃の経験は本当に私の宝物です。

卒業後すぐに東海大学に入職しました。東海大学における研修の特徴は医科研修制度です。私も麻酔科、形成外科、病理診断科などで研修させていただきました。きわめて厳しく多忙ではあったものの、素晴らしく楽しい研修生活を送るうちに楽器に触れることはなくなりましたが、大好きなジャズはいつも私の周りに流れていました。3年ほど前、youtubeでビッグバンドの演奏を見ていたらたまたまに楽器に触れたいくなり、約30年ぶりに楽器を引っ張り出してみました。1ヵ月ほど休日に一人練習をしたところ何とかやれるような気がしてきました。行きつけの呑み屋でこの話をしたところ、今所属しているバンドを紹介してもらいました。私の勤務する東海大学病院の所在地、神奈川県伊勢原市にある社会人ビッグバンド“ジャズアンサンブル・あふり”です。これはミシュラン1つ星に認定された地元の名峰、大山の別名“阿夫利”とジャズのルーツがアフリカであることからつけられた名前です。皆それぞれの職

業を持っていますが、メンバーの半分くらいはライブハウスなどで活躍中の実力派ビッグバンドで、4ビートはもちろんラテンからロック系統の音楽まで幅広いレパートリーを有します。私はその隅っこで何とか吹かせてもらっています。練習は毎週木曜日の夜に市内の小学校の音楽室をお借りしています。

ここで仕事のことを少しお話しさせていただきますと、私はがん治療、特に高度進展癌の拡大切除をふくめた手術療法を最も得意としています。東海大学病院では全ての科が密接に連携して下さるので、高度進展癌や全身的背景も含むあらゆる症例に対応することができます。症例もきわめて豊富で年間100例超の口腔癌一次症例を治療させていただいています。スタッフは研修医も含めて12名です。臨床だけでも極めて多忙です。臨床に加え会議や学会などでバンドの練習に参加できないことも多いのですが、疲労度が高いときほど頑張る（後輩に仕事を押し付けて？）出るようにしていま



仕事もまじめにやっています。母校から出向していただいている関根理予先生(右)、吉田佳史先生(左)とともに頸部郭清術の手術中(左から2番目が私)。執刀医は関根先生。



もう一つ真面目に働いているところの証拠写真。第22回ヨーロッパ頭蓋顎顔面外科学会(プラハ)で招待講演者として外頭蓋底手術を講演。



大山阿夫利神社能楽殿を舞台に繰り広げられる大山サマー
ジャズコンサート



能楽殿舞台での演奏。右から2番目が私です。



2013年11月テレビ東京のアド街ック天国でジャズアンサンブル阿夫利を紹介していただきました（テレビ画面を撮影したものです）。

す。仕事や学問と音楽はやはり脳の使う場所が違うようで、練習に出ると嘘のように疲労感が消失し元気がでます。ミュージック・ハイとでもいうのでしょうか。日常

を忘れることができる趣味があるということは本当に幸せなことだと思います。欠点は管楽器であるため練習後のビールが美味すぎて、つい深酒になってしまうことかと…。

毎年の自主コンサートに加え、お盆の時期には大山阿夫利神社能楽殿をステージに幽玄な雰囲気の中で開催される大山サマージャズ・ラテンコンサート、神奈川県中央地域のビッグバンドが集結する厚木ジャズフェスティバル、プロのコンサートの前座、賀詞交歓会、ダンスパーティや各種イベントへの出演など幅広く活動してお

ります。一昨年はTV東京のアド街ック天国で紹介していただきました。最近ではうれしいことに複数の近隣歯科医師会のイベントにも呼んでいただきました。この紙面をお借りしての営業活動にお叱りを受けるかもしれませんが、出演料は格安で承ります。またコンボ（少人数編成）も可能です。バンドマスターがイベントなどの音響を行う会社の経営者ですので、最高の音響効果で聞かせます。神奈川県内全域と東京静岡の一部地域では交通費不要です。イベントなどに必ずや花を添えます。ご検討いただければ幸いです。



第37回日本頭頸部癌学会懇親会にて東京医科歯科大学
ジャズ研究会とセッション（中央）。



昨年12月、海老名歯科医師会忘年会で呼んでいただきました。

今期の重点課題



会 長

矢 崎 秀 昭

日頃から会員の皆様には同窓会の活動にご支援賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度行われました、同窓会創立120周年の諸事業にご協力頂き、誠に有難うございました。特に平成27年11月29日に開催されました、同窓会創立120周年記念式典・講演会・祝賀会には800名に及ぶ会員、ご来賓の方々のご参加を賜り、誠に盛会となりました。これも一重に会員の皆様の心に刻まれている、120年の歴史と伝統に育まれた血脇イズムの賜物と感謝いたしております。このような東歯同窓の素晴らしい結束力を、今後の同窓会の更なる発展に反映して行こうと思っています。

記念会の前日に開催された平成27年度の評議員会におきまして、今期も引き続き会長をお引き受けすることとなりました。今期の執行に当たり以下のよ

うな重点課題として会務を運営して行こうと思っています。

1. 女性会員の急増など、会員構成の変化に対応した会員との連携の強化
2. 情報ネット、ホームページ等による、会員へのより迅速な情報提供
3. 直面している課題の大学との共有と、会員による大学への協力体制の促進
4. 同窓会アカデミア構想による人材の育成
5. 支部加入促進と同窓会の財政基盤の強化

現在、同窓会は各支部に加入していない、特に若手の会員の方が著しく増加し、さらに会費の未納の方も多くなっています。そのため各支部も含めて、同窓会の本来の活動にも支障をきたす状況となっています。

前執行部におきまして、若手ネットワーク委員会を立ち上げ、「新進会員のつどい」を開催するなど、若手の会員との連携などある程度の成果を上げることができました。今後はさらに、若手の会員の支部加入までの連携が得られるよう、集中的にこの課題に取り組んでゆこうと思っています。

大学は水道橋に移転し2年半が経過し、国試などにおいても大変順調に運営されています。さらに充実した臨床実習などのスペースを確保するために、現在、建築が進行している西棟が是非とも必要となっています。しかしながら、大震災の復興事業、東京オリンピック、消費税などから、この西棟の建築についての財政状況は誠に厳しくなっています。今後とも東歯大が日本の歯科界のリーダーとして存在し続ける様に、会員の皆様のこの西棟へのご支援を宜しくお願い申し上げます。

同窓会創立120周年記念会を開催するに際して、多くの先人の業績について学ぶことができました。建学者である血脇守之助先生の、東歯同窓は生涯にわたる研鑽と、共に助け合い、人間性を高める必要があるとの精神を、次世代に伝えることが大切と思います。同窓会アカデミア構想によって人材の育成に努め、さらに品格のある同窓会となるよう、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

東京歯科大学同窓会新役員紹介

(2016年1月1日～2017年12月31日)

会 長



矢崎 秀昭
昭和42年卒

副 会 長



澁谷 國男
昭和43年卒
渉外部

副 会 長



早速 晴邦
昭和49年卒
事業推進部

副 会 長



財部 正治
昭和52年卒
総務・厚生部

副 会 長



富山 雅史
昭和57年卒
広報部・情報関係

専務理事



臼井 文規
昭和55年卒

常任理事



佐藤 亨
昭和54年卒
総務・厚生部
大学連携

常任理事



高野 博子
昭和55年卒
総務・厚生部
女性会員

常任理事



中島 信也
昭和59年卒
総務・厚生部
主任

常任理事



高橋 潤一
平成4年卒
総務・厚生部
情報管理・新進会員

常任理事



福本 恵吾
平成2年卒
会計部

常任理事



佐々木真澄
昭和58年卒
渉外部

常任理事



小池 修
昭和56年卒
広報部
会報・HP

常任理事



岡村美恵子
昭和61年卒
広報部
会員 NW

常任理事



中川 杉生
昭和44年卒
事業推進部
社会保障制度

常任理事



木暮 隆司
昭和62年卒
事業推進部
学術

理 事



戸田 徳和
昭和50年卒
北海道

理 事



田島 守
昭和44年卒
東北

理 事



大野 勝己
昭和50年卒
関東

理 事



山口 和彦
昭和60年卒
東京

理 事



阿部 晴弘
昭和46年卒
信 越

理 事



国島真希子
昭和51年卒
東 海

理 事



野田 修
昭和53年卒
北 陸

理 事



稲野 順治
昭和54年卒
近 畿

理 事



野間 博
昭和49年卒
中 国

理 事



沖 義一
昭和51年卒
四 国

理 事



田部 和彦
昭和43年卒
九 州

常任監事



春山 良夫
昭和46年卒

監 事



藤原 元幸
昭和50年卒

監 事



矢島 安朝
昭和55年卒

—顧問—



大山 萬夫
昭和25年卒

—顧問—



鳴神 保雄
昭和30年卒

—顧問—



宮地 建夫
昭和42年卒

役職は、主な担当及び地域

お知らせ

理事会より

- 第1回理事会が平成28年1月16日（土）に開催され、三期目の矢崎執行部がスタートしました。今年から、昨年の評議員会で承認されました「都道府県代表者会」を開催させていただく予定です。121年目となる同窓会の更なる発展を目指し、意見交換等ができれば幸いです。



同窓会事業・行事

- 平成28年度東京歯科大学同窓会評議員会
と き 平成28年11月20日（日）
ところ 如水会館（千代田区一ツ橋2-1-1）
- 第44回全国ゴルフ大会
と き 平成28年9月22日（木・祝）
ところ 武蔵丘ゴルフコース（埼玉県）
- TDC アカデミア2016
・ 卒後研修
・ 医療教養
・ 臨床セミナー
日程は6ページ参照

地域支部連合会・支部関係

●地域支部連合会会長の交代

平成27年12月31日付

北陸地域支部連合会 山崎 安仁 氏（昭50卒）
前連合会長 伊藤 透 氏（昭48卒）

平成28年1月1日付

東北地域支部連合会 鈴木 雅夫 氏（昭44卒）
前連合会長 宍戸 計一 氏（昭49卒）
関東地域支部連合会 引田 正俊 氏（昭52卒）
前連合会長 菊地 善郎 氏（昭50卒）
東京地域支部連合会 早速 晴邦 氏（昭49卒）
前連合会長 浮地 文夫 氏（昭44卒）

信越地域支部連合会 阿部 晴弘 氏（昭46卒）
前連合会長 阿部 高夫 氏（昭50卒）
東海地域支部連合会 神田 潤二 氏（昭50卒）
前連合会長 加藤 誠康 氏（昭50卒）
近畿地域支部連合会 稲野 順治 氏（昭54卒）
前連合会長 戸村 善明 氏（昭51卒）
中国地域支部連合会 野間 博 氏（昭49卒）
前連合会長 伊丹 義明 氏（昭46卒）

平成28年2月1日付

北陸地域支部連合会 野田 修 氏（昭53卒）
前連合会長 山崎 安仁 氏（昭50卒）

●支部長交代

平成27年12月31日付

川崎支部 関 暁子 氏 (昭43卒)
 前支部長 古賀 克隆 氏 (昭42卒)
 静岡県支部 神田 潤二 氏 (昭50卒)
 前支部長 松下 茂 氏 (昭50卒)

平成28年1月1日付

山形県支部 五十嵐 栄 氏 (昭47卒)
 前支部長 齋藤 利明 氏 (昭45卒)
 栃木県支部 矢島 俊助 氏 (昭55卒)
 前支部長 菊地 善郎 氏 (昭50卒)
 横浜北部支部 三島 裕 氏 (昭55卒)
 前支部長 矢島 満 氏 (昭52卒)
 横浜西部支部 辻村 育郎 氏 (昭53卒)
 前支部長 佐藤 信之 氏 (昭46卒)
 神奈川西湘支部 馬上富美男 氏 (昭48卒)
 前支部長 古井 瞭 氏 (昭48卒)
 山梨県支部 末木 稔 氏 (昭55卒)
 前支部長 三木 正夫 氏 (昭50卒)

北支部

前支部長

高橋 敬人 氏 (昭62卒)

板谷 雅一 氏 (昭53卒)

中信支部

前支部長

林 健治 氏 (昭46卒)

中田 金一 氏 (昭44卒)

東信支部

前支部長

林 邦幸 氏 (昭50卒)

阿部 高夫 氏 (昭50卒)

南信支部

前支部長

池上 英明 氏 (平6卒)

鮎澤 潤 氏 (昭54卒)

三重県支部

前支部長

辻 孝 氏 (昭56卒)

加藤 誠康 氏 (昭50卒)

富山県支部

前支部長

野田 修 氏 (昭53卒)

山崎 安仁 氏 (昭50卒)

大阪府支部

前支部長

稲野 順治 氏 (昭54卒)

田丸 秀夫 氏 (昭50卒)

鳥取県支部

前支部長

田本 晃 氏 (昭53卒)

小徳 省三 氏 (昭49卒)

岡山県支部

前支部長

石田 元久 氏 (昭48卒)

伊丹 義明 氏 (昭46卒)

佐賀県支部

前支部長

副島 渉 氏 (昭58卒)

副島 洋二 氏 (昭53卒)

母校関係行事・案内

●第121回東京歯科大学卒業証書・学位記授与式

と き 平成28年3月15日(火)

ところ 東京歯科大学水道橋校舎新館 血脇記念ホール

●平成28年度東京歯科大学入学式

と き 平成28年4月5日(火)

ところ 東京歯科大学水道橋校舎新館 血脇記念ホール

●東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業式

と き 平成28年3月11日(金)

ところ ホテル ザ・マンハッタン 2階プリマベアラ

●東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式

と き 平成28年4月6日(水)

ところ 東京歯科大学水道橋校舎新館 血脇記念ホール

●平成28年度東京歯科大学学会

第301回例会 平成28年6月4日(土) 東京歯科大学水道橋校舎新館

演題締切 4月6日(水) 正午

平成28年度 理事会・常任理事会, TDC アカデミア2016, 広報部広報委員会
年間開催日程表

理事会・常任理事会		TDC アカデミア2016		広報部広報委員会	
開催日	区分	開催日	セミナー名	開催日	作業内容
1月16日(土)	第1回 理事会	1月28日(木)	医療教養 リベラルアーツ・リレー講座	1月13日(水)	2月号編集
2月24日(水)	第1回 常任理事会			2月15日(月)	年間企画
3月19日(土)	第2回 理事会			3月11日(金)	120周年記念誌企画
4月27日(水)	第2回 常任理事会	4月14日(木)	医療教養 フロントランナーセミナー	4月11日(月)	6月号企画
		4月24日(日)	臨床セミナー 顎関節症セミナー		
5月21日(土)	第3回 理事会	5月15日(日)	卒後研修 ベーシックセミナー	5月13日(金)	6月号編集
		5月28日(土)	臨床セミナー エンドセミナー		
		5月29日(日)	臨床セミナー エンドセミナー		
6月22日(水)	第3回 常任理事会			6月10日(金)	年間企画
7月27日(水)	第4回 常任理事会	7月10日(日)	臨床セミナー 移植・再植セミナー	7月11日(月)	年間企画
				8月24日(水)	10月号企画
9月17日(土)	第4回 理事会	9月10日(土)	臨床セミナー 補綴セミナー	9月9日(金)	10月号編集
		9月11日(日)	臨床セミナー 補綴セミナー		
		9月15日(木)	医療教養 フロントランナーセミナー		
10月15日(土)	第5回 理事会			10月14日(金)	12月号企画
11月19日(土)	第6回 理事会	11月27日(日)	医療教養 口腔保健オープン・フォーラム	11月11日(金)	12月号編集
12月7日(水)	第5回 常任理事会			12月15日(木)	2月号企画
(理事会6回・常任理事会5回)			毎月第2水曜日 TDC 研修倶楽部 毎月第3水曜日 DSM 毎月第4木曜日 歯科臨床を語る会	平成29年 1月12日(木)	2月号編集

東京歯科大学短期大学設置申請のお知らせ

東京歯科大学同窓会会長 矢崎 秀昭

学校法人東京歯科大学は、平成27年3月の理事会・評議員会において、歯科衛生士教育のための短期大学を新設する方針を決定しました。同年10月理事会の最終承認を経て、現在文部科学省に設置許可を申請中です。認可されれば、水道橋キャンパスに歯科衛生士教育の場が誕生します。順調にすすめば、平成29年には開校できるとのことです。

今後の高齢社会の進展を踏まえ、要介護高齢者や医科疾患患者に対し、予防処置・診療補助・歯科保健指導を適切に提供し、医療・介護従事者との連携の場に対応することのできる歯科衛生士の養成を目的として短大の設置が申請されました。

東京歯科大学と同一の水道橋キャンパス内に短大を設置し、歯科医学・医療の変化に歩調を合わせた教育と、市川総合病院での臨床教育が特色となっております。

短期大学の教室や演習室を水道橋キャンパス本館の14階に、新設される西棟5階の臨床実習室を設置する計画となっており、西棟1階のラウンジも学生の学習施設として良好な環境を提供するものと思われます。

同窓の皆様のご理解を頂けますようお願い申し上げます。



西棟完成予想図（平成28年3月完成予定）

120th Junior Residents.

夢・未来

同窓会創立120周年記念によせて(桔梗会)

創立120周年のテーマから「未来への飛躍」に焦点をあて、『夢・未来』と題して、昨年卒業した先生方の歯科医師としての将来を語っていただきました。

時 が過ぎるのは早く、もう研修期間の半分以上が終わりました。

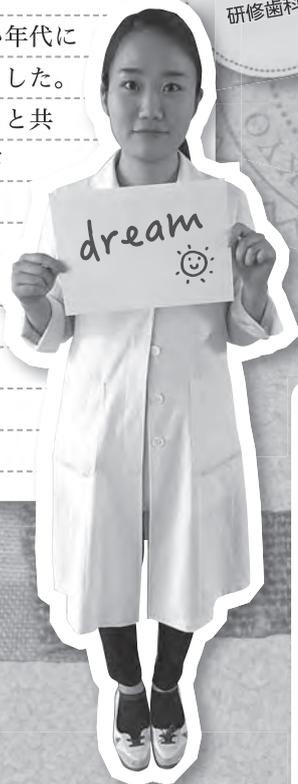
私は現在、開業医さんでの研修を終え千葉病院で過ごしています。

開業医さんでは小児から高齢者まで幅広い年代に渡る患者さんの診療を経験させていただきました。

そこで改めて補綴への知識の重要性を知ると共に、小児治療とその専門知識の必要性を感じました。

将来は今後も進行する高齢社会において高齢者に寄り添った対応ができ、それだけではなく子供の口腔内も管理・教育し健康な成長へ導けるようになりたい。漠然としていますが、この様な気持ちを忘れず診療に従事できればと思います。

朝倉瑠美
研修歯科医



浅見洋佑
研修歯科医

研 修が始まって8ヵ月が経ちました。

お陰様で勉強の毎日で充実した日々を送っています。

残り少ない研修期間を大切にして、一人前の歯科医師になれるよう頑張っていきます!!



一岡理華
研修歯科医

歯 科医師という職業に就いて、私はこれから社会にどう貢献できるか。歯科医療行為をする上で、この分野だけは他の人には負けないという自信を持ちたいと私は考え、大学院に進む事を決意しました。決意するまでにはかなり悩みました。また学生の立場に戻るといふ事に抵抗があったからです。

しかし、今は専門的な分野を学び、より安全かつ快適な治療を提供できるように頑張りたいと考えています。

これからどのように貢献できるのが楽しみでもあり、今後の課題でもあります。

1日1日を大切に精進していきたいです。

編集 佐々木葉子 (広報部)
編集協力 岡澤亮平 (学年代表)
石井悠佳里 (アルバム委員)
小野瀬祐紀 (水道橋代表)

井上高暢
研修歯科医



「Smile Creator」, 2012年アジア
歯科学学生会議に参加した際に、
グループみんなで将来目指そうと決め
た合言葉だ。患者さん一人一人に笑顔
になって帰っていただく。診療する全
ての患者さんを笑顔にするのは簡単で
はないだろうが、少しでもそのような
歯科医師像に近づけるように、
しっかりした診断力、臨床手技、
おもてなしの心を学び、そし
て1人でも多くの患者さんに
笑ってもらいたい。

120th
Junior Residents

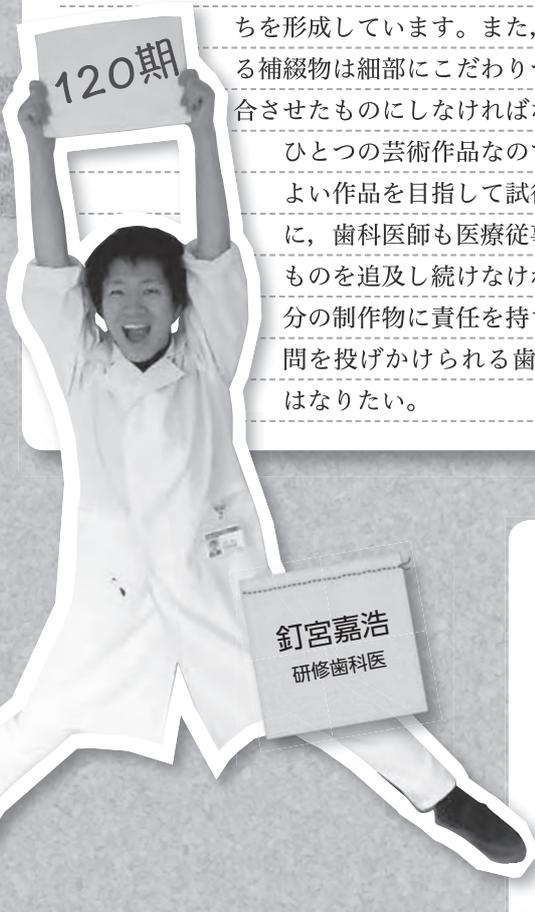


沖 義之
研修歯科医

私 たち研修医は指導
医の先生方のご指
導のもと、日々、患者の
heartに寄り添った診療
を心がけています。私は、
患者のeatを治すため
には患者ひとりひとりとの
meetを大切にすること
が重要だと考えます。患
者がmeatをしっかりeat
でき、その喜びの羽音で
beatをさぎめるようにす
るのが、私の理想の歯科
医師像であり、芸術家という私の本業の
糧になるとheartから思っております。
歯科医とartistは紙一重です。どちらも
常に自身の作風に疑問を持ち続けること
が必要となります。患者のheartをしっ
かりnahtしてchantすることができる歯
artistを私は目指します。

あ る患者さんにやなせたかさんの『歯科詩集:は、は、は、
歯のおはなし』という詩集を勧められました。彼は詩集
の中で歯科医師を芸術家に例えました。歯科医師は患者さんの
ハートに寄り添いつつ、世界に一つだけのかた
ちを形成しています。また、治療の過程で用い
る補綴物は細部にこだわりつつも機能運動に適
合させたものにしなければなりません。それは
ひとつの芸術作品なのです。芸術家がより
よい作品を目指して試行錯誤を重ねるよう
に、歯科医師も医療従事者としてよりよい
ものを追及し続けなければなりません。自
分の制作物に責任を持ち、自身の作風に疑
問を投げかけられる歯Artな歯科医師に僕
はなりたい。

120期

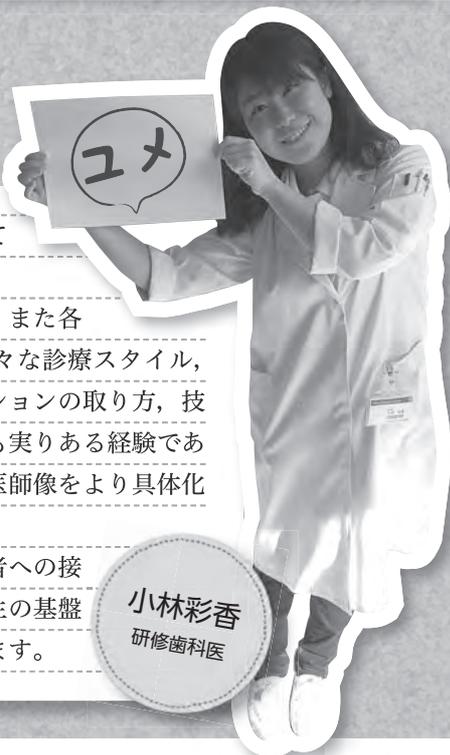


釘宮嘉浩
研修歯科医

私 は2件の開業医で研修させて
いただきました。

各診療所で診療の仕方は異なり、また各
ドクターごとでも異なります。様々な診療スタイル、
患者やスタッフへのコミュニケーションの取り方、技
術等学べたことは私にとってとても実りある経験であ
り、今後自分が目指していく歯科医師像をより具体化
できたように思います。

この研修で得た知識や技術、患者への接
し方等すべてを今後の歯科医師人生の基盤
にし、日々邁進していこうと思います。



小林彩香
研修歯科医



小林佐穂
研修歯科医

研 修医としての生活が始まって半年が過ぎました。私は最初の4ヵ月を北海道のつがやす歯科医院で勉強させていただきました。往診を手広く行っている医院で、施設や自宅を含め往診に向かう機会を多くいただきました。往診先では残念ながら診療室と全く同じレベルの治療をすることができません。使える機材、その場で可能な処置で私たちがどのように患者さんの希望を叶えていけるのか、とても考えさせられました。

最初の4ヵ月間でこのような経験が出来たことはとても有り難く、患者さんを笑顔にする喜びを知ることができました。これからも初心を忘れず、日々学び、技術の向上に努めたいと思います。

120th
Junior Residents



斉藤真梨子
研修歯科医

私 は4月から4ヵ月の間、開業医の元で研修のお世話になりました。

今までは歯科医療の現場を大学病院という環境で見てきたので、毎日が新鮮でした。

短い診療時間内で行われる患者さんへの対応から歯科治療の流れ、大学病院とはまた違った空気に戸惑う事もありましたが、それは同時によい刺激となりました。

その中でも私が強く感じたのは「地域への貢献」です。

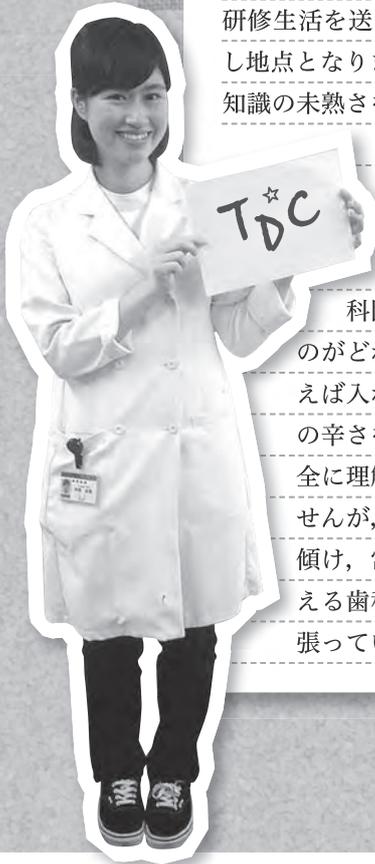
子供から高齢者まで、その地域の患者さんの健康を一生見守っていく、そんな役割を担っているのではないかと感じました。

この経験は患者さんの健康を一生サポートできる、そんな歯科医師になりたいと思わせてくれました。

残り研修期間も貴重な勉強の場、大切に過ごしていきたいです。

私 は4月から岡山大学病院で研修しています。配当された患者さんの診療をはじめ、専門分野での研修、歯科医師の立場から地域の方々に向けた講演会を行ったりと様々な経験を通して慌ただしくも充実した研修生活を送っています。研修生活も折り返し地点となりますが、まだまだ自分の技術や知識の未熟さを痛感し、先生と呼ばれる度にもっと頑張らなくては！と襟を正す思いです。日々患者さんと接していると、東京歯科大学で教えて頂いた「歯科医師たる前に人間たれ」というのがどれほど大切かが分かります。例えば入れ歯に慣れないという患者さんの辛さを入れ歯を使っていない私が完全に理解することは難しいかもしれませんが、患者さんの話にしっかり耳を傾け、常に患者さんの気持ちに寄り添える歯科医師を目指してこれからも頑張っていきたいと思っています。

寺岡由貴
研修歯科医



私は今、岡山大学病院で研修をしています。ここまで研修をしてきて、患者さんとのコミュニケーションの取り方、診断、治療計画の立案、実際の治療行為など、とにかく歯科医療を行うことがこんなに難しいことなんだと実感している毎日です。研修終了後は大学院に進学し、一般歯科の知識と技術の向上を図りながら、摂食・嚥下や障害者歯科といった分野も勉強し、さまざまなニーズに応えることができる歯科医師を目指していきたいと考えています。

廣田 啓
研修歯科医



「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」ある故人が遺した言葉です。歯科医師としてスタートラインに立ったばかりで、できないことの方が多くあります。約8ヵ月間研修をして、何度も自分の不甲斐なさに気を落としました。しかし、これからも夢を語ることで、努力を惜みず、患者さんのために尽くす歯科医師になれるように日々精進していきたいです。

深見未妃
研修歯科医



私は1年間千葉病院で研修を行っています。初めの4ヵ月は総合診療科にて、指導医の元数十名の患者の治療にあたりました。患者の症状は一人一人異なり、それぞれの主訴に対する治療法を導き出す難しさ、頭ではわかっているがなかなか手が動かないという経験の少なさ、時間配分など様々な悩みと戦いながら、同じような悩みを持った同期たちに日々助けられながら毎日必死に治療を行いました。夏からは矯正科、インプラント科といった専門分野の研修を行いました。どの科をまわっても感じることは、テクニックはもちろんのこと、患者の気持ちに親身になり思いやりのある治療を行うこと、きちんとしたコミュニケーション能力がとても必要だということです。まだスタートをきったばかりですが、たくさんのことを研修期間中に吸収し、これからの歯科医師人生に生かしていければと思います。

前原彩香
研修歯科医



研修医になってから半年ほどが経ちました。私は8月から開業医さんで研修をさせて頂いています。実際に治療などもやらせてもらっていますが、開業医さんでまず最初に思ったことは、診療を短時間で終わらせないといけないことです。しかし、短時間だからといって、治療が雑になってしまっただけいけないし、患者さんとのコミュニケーションもしっかりと行わないといけないため、毎日反省することも沢山あります。まだまだ勉強することばかりですが、患者さんの気持ちに寄り添えるような歯科医になれるように、これからも頑張っていきたいと思っています。

矢野秀佳
研修歯科医



平成27年度評議員会報告

平成27年度評議員会は、11月28日（日）如水会館にて開催された。高橋義一専務理事の司会のもと、宮地建夫副会長の開会の辞で開幕、評議員数78名中78名全員が出席した。

まず、矢崎秀昭会長から、翌日に迫った120周年記念事業についての経過報告および具体的な予告に始まり、大学連携における西棟建設の協力、若手会員との連携、支部未加入対策など、支部との連携が必要な項目に対するお願い、同窓国会議員に対する支援の依頼などを述べたうえで、会員の協力によりいっそう充実した会務運営を目指したい旨の挨拶があった。（詳細は16～17ページを参照）。

続いて来賓を代表して水野嘉夫理事長、井出吉信学長、白須賀貴樹衆議院議員、島村 大参議院議員にご挨拶をいただいた。

また、白井文規常任理事より、時間の関係でご挨拶をいただけなかったご来賓・名誉会員のご紹介があった。



矢崎秀昭会長挨拶



白須賀貴樹衆議院議員(参与)来賓挨拶



島村 大参議院議員(参与)来賓挨拶

議長・副議長の選出

議場より執行部一任の声があり、議長に北浦利明評議員（関東）、副議長に市川敬一評議員（東京）が選出された。議長より4名

の評議員の代理出席がある旨の報告があり、承認された。議事録署名人には宍戸計一評議員（東北）、加藤成俊評議員（北陸）が指名された。



宮地建夫副会長



北浦利明議長・市川敬一副議長

報告

報告に先立ち、この1年間に逝去した114名に対して黙祷を捧げた。次いで高橋専務理事より評議員選出にかかわる経過措置の扱い、会員支部未加入対策、若手会員との連携、新しい情報発信の試

み、120周年記念事業、大学連携特に西棟建設に対する寄付の協力など、多岐にわたる平成27年度会務報告が行われた。さらに福本恵吾常任理事より平成27年度会計現況および共済金現況の報告が行われた。井出学長からは「東京歯科大学の現況」と題した報告をいただいた（内容は18～19ページに記載）。

事前質問

会務報告に対して、松下 茂評議員（東海）より「疾病見舞金について」、共済規定に若い世代を対象とした共済規定を創設することができないかとの事前質問があり、高橋専務理事から共済規定は5年ごとに見直しており、若い世代に注目した対応を積極的に検討するよう、次期執行部に申し送る旨の回答があった。これに対し松下評議員から、可能であれば速やかに対応願いたいとの要望があった。



松下 茂評議員（昭和50年卒・東海）
（事前質問）

会長挨拶および会務報告に対する 当日質問

山崎安仁評議員（北陸）から支部未加入者の情報提供についての質問があり、執行部より支部から要請があればいつでも情報提供できる旨、さらに女性会員に対する



山崎安仁評議員（昭和50年卒・北陸）
（当日質問）

今後の取り組みを問う質問には、女性会員がいかに同窓会活動に参加していただけるか、検討委員会を設置することが事業計画に盛り込まれた旨の回答があった。

議長は会長挨拶および各報告までの承認を求め、了承された。

井出学長より大学の国際化に向けた対策について現在の取り組みの実情をお話しいただいた。

叙勲・褒章受賞者顕彰式

昼食をはさみ、午後の議事に入る前、叙勲・褒章受賞者顕彰式が行われた。

平成26年秋には8名、27年春には7名、さらに高齢者叙勲として1名、没後叙勲として1名の会員が叙勲を受章されたことが紹介された。ご来席の5名の先生に矢崎会長より顕彰状と記念品が伝授され、顕彰者を代表して中村佳晃先生が謝辞を述べられた。

なお平成26年秋の叙勲受章者は、難波宏之先生（旭日双光章、



叙勲・褒章受章者

旭川）、首村泰永先生（同、群馬県）、土屋善博先生（同、静岡県）、上田尚一郎先生（同、愛媛県）、高江洲義矩先生（瑞宝中綬章、沖縄県）、久保木康輔先生（瑞宝双光章、茨城県）、中村佳晃先生（同、横須賀鎌倉）、岡本 秀先生（同、広島県）であった。また平成27年春の受章者は、太田晃先生（旭日双光章、秋田県）、中川正晴先生（同、山形県）、小杉国武先生（同、埼玉県）、浮地文雄先生（同、八南）、大津憲一先生（同、静岡県）、柳川 昭先生（瑞宝双光章、千葉県）、江崎梅太郎先生（同、長崎県）であった。高齢者叙勲は、飯田慶治先生（瑞宝双光章、千葉県）であった。没後叙勲は長瀬宰治先生（旭日双光章、南信）であった。

議 事

第1号議案から第5号議案は平成26年度決算に関する議案であり、一括上程された。第1号議案から第4号議案について福本常任理事、また5号議案は白井常任理事による説明があり、梅村長生常任監事の監査報告があった。審議・採決は逐条で行われ、いずれも原案通り可決・確定した。

第6号議案は評議員選任および会議に係る会則の改正案である。高橋専務理事の説明後、採決の結



高橋義一専務理事



評 議 員

果、挙手多数にて可決・確定した。このことにより、評議員の経過措置は廃止され、合わせて都道府県代表者会が創設されることとなった。

第7号議案は同窓会選挙規則の改正案である。6号議案が成立したことにより、同窓会選挙規則に整合性を図る必要の箇所があり、その改正案である。高橋専務理事の説明の後、可決・確定した。

第8号議案から第10号議案は平成28年度事業計画・入会金・会費、経常部収支予算に係るもので、事業計画については高橋専務理事から、そのほかは福本常任理事から説明があり、3議案とも可決・確定した。

事業計画に関しては、木俣 茂



木俣 茂評議員（昭和51年卒・関東）
（質問）

評議員（関東）から医業継承幹旋事業を本部が積極的に取り組んでほしい旨の要望があり、高橋潤一常任理事より来年度の総務・厚生委員会の検討項目とするよう申し送る旨の回答があった。

第11号議案は平成28年度共済負担金に係るもので、福本常任理事の説明の後、可決・確定した。

第12号議案から第14号議案は平成27年度特別会計収支予算、卒後研修セミナー収支予算および卒後研修セミナー積立金収支予算、時局対策費積立金会計収支予算に係るもので、福本常任理事の説明の後、全て原案通り可決・確定した。13号議案については、新倉良一評議員（関東）から卒後研修セミナーについて説明が求められ、木暮隆司常任理事より現状の報告と今後の展開について期待いただきたい旨の発言があった。

第15号議案は任期満了に伴う役員の改選である。澁谷國男選挙管理委員長から会長に矢崎秀昭会員（推薦者：宮地建夫会員、浮地文夫会員）、監事に矢島安朝会員（推薦者：井出吉信会員、佐藤

亨会員）、春山良夫会員（推薦者：成田賢二会員、小杉国武会員）、藤原元幸会員（推薦者：鈴木文登会員、五味明雄会員）の推薦立候補があったことが報告された。

立候補数と定数が一致したため、議長が会長、監事についてそれぞれ承認を求めたところ、満場一致で可決・承認された。矢崎会長は3期目を迎えることとなった。

副会長・理事については会長一任とすることも承認された。

第16号議案は選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出である。高橋専務理事より次期選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出を議場に求めたところ、岩田充了評議員（九州）より決定事項を何らか



岩田充了評議員（昭和52年卒・九州）
（質問）

の方法で通知することを条件に議長一任の提案があり、さらに松木建二評議員（四国）から同意の発言があった。この意見に従い、条件が満たされているか審査したうえで人選し、評議員・支部長に郵便で報告し、会報に掲示することが承認された。

緊急動議

小徳省三評議員（中国）および中野正博評議員（東京）から、満期となる矢崎執行部に対して感謝の意を表する緊急動議が提出され、具体的な内容については、次期執行部に一任することとなった。

協 議

執行部から「支部未加入者対策について」と「叙勲/褒章受章者顕彰式について」の2題が提案された。「支部未加入者対策について」

前年度評議員会において田丸秀夫評議員（近畿）より夫婦会員の会費削減の是非について質問があり、執行部より若手夫婦会員の減額の可能性を示唆した回答があった。その後、総務・厚生委員会で協議を加え、今回は高橋常任理事より、夫婦にこだわらず卒後10年までは会費を1万円程度にして支部加入を促進する提案があった。これに対し、田丸評議員より、減額案には賛成だが夫婦会員についても協議願いたい旨の意見があった。

さらに各支部で未加入対策として取り組まれている内容を、引田正俊評議員（関東・群馬県）、松下評議員（東海・静岡県）、山崎評議員（北陸・富山県）、橋本雅範評議員（東海・愛知県）、松木評議員（四国・愛媛県）よりそれぞれ紹介があった。佐藤 亨常任理事からは、学生（準会員）の名簿提供に関する大学の考え方が述べ

られた。

今後、支部や大学と共に連携をとりながら、さらなる対応策の検討を進めることとなった。

「叙勲/褒章受章者顕彰式について」

これまで叙勲/褒章受章者は評議員会で紹介したうえで、評議員会の場で顕彰を行っていた。この顕彰式を従来通り評議員会（または都道府県代表者会）で行っていくか、支部または地域支部連合会で行う方がよいのかを問う協議題である。菊地善郎評議員（関東）からは、関東地域支部連合会で行



橋本雅範評議員（昭和53年卒・東海）
（質問）



小徳省三評議員（昭和49年卒・中国）
（緊急動議）



田丸秀夫評議員（昭和50年卒・近畿）
（質問）



松木建二評議員（昭和52年卒・四国）
（質問）



中野正博評議員（昭和55年卒・東京）
（緊急動議）



引田正俊評議員（昭和52年卒・関東）
（質問）



菊地善郎評議員（昭和50年卒・関東）
（質問）

うのは困難との意見があった。これに対し、山崎評議員（北陸）からは、地域支部連合会では難しいが支部でできるならそれが好ましいとの意見があった。今後各地域・支部の考え方を参考に、次期執行部に申し送ることとなった。

浮地文夫副会長の閉会の辞で、平成27年度評議員会は滞りなく閉

幕した。今年は翌日が120周年記念式典のため、懇親会は省略された。次年度は評議員会と都道府県代表者会に分かれた新たな形式となる。

註：評議員は各地域支部連合会単位で選出されるため、所属は地域支部連合会名としてあります。



浮地文夫副会長

評議員会挨拶

矢崎秀昭会長



皆さま、おはようございます。ご来賓の先生方、そして評議員の先生方、早朝より誠にありがとうございます。

いよいよ明日は東京歯科大学同窓会創立120周年ということになりまして、皆さま方にもご出席賜わるということでございます。よろしくお願い申し上げます。

120年前の明治28年に、血脇先生が、歯科医師というものは、生涯にわたる研修、共に助け合い、高め合う必要があるとして、同窓会を創立し、今年がちょうど120年目となり、明日、記念会を開催いたします。評議員の先生、また支部長の先生方のご協力により、800名を越すご来賓の方、そして会員の方にお集まりいただき、誠

に盛大な会になりますことを、心より御礼申し上げます。

明日の120周年記念会は、従来の形とは異なり、血脇先生ゆかりの血脇記念ホールで、まず式典・講演会、そして場所を移動して、東京ドームホテルで祝賀会を開催することになっております。

そのために移動があり、評議員の先生方、ご自分の地区のお知り合いの先生方、あるいはご来賓の方々の誘導等、評議員の先生方にもご協力をよろしくお願い申し上げます。明日の120周年の会が、これからの同窓会、あるいは大学の発展につながるよう、皆さま方のご協力をお願い申し上げます。

東京歯科大学が水道橋に移りましてから、ちょうど2年経過し、後程大学のほうから詳しいご説明がございましたが、現在、教育、研究、臨床等、大変順調に進んでおります。しかしながら、これから水道橋における臨床の充実等、また衛生士短大の設立もあり、そのために西棟の建設が進んでおります。この建設により、当初移転の計画によりまして大学がさらに充

実することを心から願っております。

先の血脇記念ホールの建設に関しまして、多くの同窓の先生から多大なご寄付を賜わり、さらに全国の1,700余名の会員、さらに、60の支部、あるいは各種OB会からもご寄付をいただきました。衷心より御礼申し上げます。

東京歯科大学の歴史を見てみますと、大正12年の関東大震災の後の昭和4年に、われわれが学んだ旧水道橋校舎が建設されています。このときは全国6,000名余の同窓の力だけで水道橋校舎ができております。また戦後の大学を新設するとき、あるいは大学院の設立、あるいは千葉に移転など、同窓の力で大学は今日まで発展してきております。

このたび西棟の建設に関しましては、順調に進んでおりますが、皆さまよくご存じのように、昨年来からの建築費の異常な高騰、あるいは消費税の増税等あり、この建設に関しての大学の財政は大変厳しくなってきました。先般、血脇記念ホールへのご寄付の

お願いをしたばかりですが、各支部の先生方へお願い申し上げまして、今後とも大学が充実するように、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

現在、同窓会の最大の課題は、若手の会員が各支部に入らないこと、若手の会員との連携が取りにくくなっているということでございます。私は、前会長の大山先生の後を受けまして、若手の会員と同窓会との連携が取れるよう、新進会員制度、あるいは学生を準会員とするような制度をつくり、さらに若手の会員との連携を深めることを第一として、現在、種々の事業を行っております。

これからの同窓会を担う先生方のさらなる活躍を願って、現在、

種々対応していますが、なかなか難しい状況です。日本一の教育をしている東京歯科大学を、何とか同窓の力で今後とも支えていきたいと思っております。

本同窓会におきましては、種々事業を行っておりますが、やはり何といても各評議員、各支部の力を結集していくことが大事でございます。先生方の一層の協力をお願い申し上げます。

同窓会の歴史を調べてみますと、約10名の国会議員の先生方が今までにおられます。現在も、本日も出席いただいております。参議院に島村先生、衆議院に白須賀先生と、2人の国会議員を抱えております。この二人は歯科界のために大変頑張っていたいただいております。

ますので、同窓会としましては後援会をつくりまして、この二人の活動をさらに支援することとなっております。ぜひ、このお二人の東京歯科大学同窓会後援会に、多くの支部の先生方が入っていただくことを、心からお願い申し上げます。

今後とも皆さまと一緒に、東京歯科大学、そして同窓会が、さらなる繁栄をするように頑張っていく所存でございますので、明日の120周年記念会を含めまして、よろしく申し上げます。

本日はお集まりいただき、誠にありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。ありがとうございました。

水野嘉夫理事長



皆さま、おはようございます。本年は同窓会創立120周年ということで、非常におめでたいときを迎えております。

私、昨年、理事長に選任されてから、この1年半の間、なるべく地方に行って先生方とお話をしたいと思っております。できる限りのことをさせていただきました。いくつかのところでは同窓会の総

会に出させていただきます。私、約35年間関係しておりますけれども、今さらながら東京歯科大学というものはやはり素晴らしいものだということと、また同窓会の結束というものがすごいということを改めて感じさせていただきました。

東京歯科大学は、今、125年、同窓会は120年ですから、この120年の伝統というのは大変な伝統でありますし、また、今こそこの伝統を生かして、伝統を伸ばすということは常に改革を進めていくことだと思っております。いろいろなお店でも、100年の伝統ある老舗では、常にイノベーションを行っていかなくてはいけないとい

今日は新しく同窓会の執行部が決まると思いますけれども、これからは新しい同窓会はどうあるべきかということを考えて、私どもの東京歯科大学と共に歩みが続けて、まずは、100年後の未来の人のために、大学も、また同窓会も共に頑張っていきたいと思っております。

今日は評議員会にお招きをいただきました。ありがとうございます。今日1日、長い時間だと思っておりますが、ぜひ同窓会の発展のために実りある協議をしていただきたいと思っております。どうかよろしくお願いたします。

本日はありがとうございます。

井出吉信学長



皆さま、おはようございます。日ごろより大学をご支援いただき、大変感謝しております。水道橋に移転して2年半たちますが、順調に運営しております。最近多くの同窓の先生方が、地方から東京にお見えになる際、大学の方へお立ち寄りくださるのは大変ありがたいことでございます。

後程、スライドを使いまして、大学の現況についてご報告をさせていただきますたく存じます。

東京歯科大学の現況

〈スライドを使用しての説明〉

今年の大学院の卒業式風景でございますが、近年学部学生の卒業式と同時にっております。

これは今年の入学式風景です。ご存じのように女子学生が多くなっており、2年生、3年生は半分以上が女子学生です。女性の同窓生は、同窓会への出席率が低い傾向にあるとお聞きしておりますので、大学としても女性の同窓生に同窓会への加入・参加を促すための対策が今後ますます必要になると思います。

今年の4月から、新しく開設された講座や、一部名称を改称した講座がございます。

社会歯科学は、これまで研究室であったのを、その重要度を考慮

し講座にいたしました。

口腔外科に関しましては、これまでの口腔外科学講座を口腔顎顔面外科学講座に変更し柴原教授に主任になっていただき、また、口腔病態外科学講座を新設し片倉教授に主任になっていただきました。

有床義歯補綴学は、老年歯科補綴学と新たにパーシャルデンチャー補綴学の2つの講座に分け、櫻井教授に老年歯科補綴学、山下教授にパーシャルデンチャー補綴学の講座主任をお願いいたしました。口腔健康臨床科学講座は口腔健康科学講座と名称を変更し、スポーツ歯学、摂食嚥下リハビリテーション、障害者歯科・口腔顔面痛の3つの研究室を設置し、障害者歯科の主任に麻酔の准教授だった福田先生、摂食嚥下リハの主任に石田先生に就任していただきました。本年度新たに就任いただいた教授は6名おられ、福田教授、石田教授の他、歯科放射線学の後藤教授、臨床検査病理学講座の松坂教授、市川総合病院ではオーラルメディスン・口腔外科学の野村教授、麻酔科の金田教授が就任されました。後藤先生は、九州大学をご卒業後、補綴を経て、香港大学で放射線学をなさっており、今年9月に歯科放射線学の教授に就任していただきました。

昨日、歯学教育認証評価トライアル現地調査が行われ、他大学の先生方が本学を視察にいらっしゃいましたが、東京歯科大学は予備校のような教育を行っているのかと聞いていたが、実際には臨床教育や基礎教育に思いの外、熱心に

取り組んでいて、臨床・基礎共に非常に力を入れていることが見て取れた、と感想を述べて行かれました。世間では、本学が予備校のような教育体制を敷いているのではないかと考える方がいらっしゃるようですが、それは誤りであるということをご理解いただけたようです。本学を見学にいらした先生方からよくお褒めいただくのが、わが校では学生がグループを作り、優秀な学生が習熟度の低い学生に自主的に勉強を教えているという、わが校独特の校風です。もちろん、学生は教員ではありませんから、教員がしっかりと連携し、チェックを行いながらグループ学習をさせているのですが、総じてきちんとした相互学習の場となっております。

こちらがつい先日行われました推薦入試で、合格者数の内訳は女性が37、男性が27です。推薦入試においては、概して女性の合格者の方が多いのですが、今年も現段階で女性のほうが10名多く入学しております。先生方におかれましては、是非優秀な受験生を本校にご推薦いただけるよう、よろしく申し上げます。入試では、もちろん成績によって合否を決定しておりますが、同窓生のご子弟や、たとえ他大学の方であっても受験なさる場合はご一報いただければ幸いです。

学士入試では、早稲田・慶応・津田塾大などからも非常に優秀な方が受験し合格しております。ご実家が歯科医で、高校卒業時には他の分野に興味をお持ちであったのが、大学入学後に考えが変わったり、一度社会に出てから改めて

歯科医に転身を希望したりする方々です。

学士等特別入試というのは、学士であっても物理や化学の分野に弱いので、1年次からきちんと授業を受けたいという方に、面接重視の試験を受けていただくという入試制度です。編入学や学士等特別入学の方々には、人格的にも優れている方が多く、このような方々が入学しますと、クラス全体のまとまりが良くなり、学生の質が向上します。これは、大学にとっては非常に望ましいことで、このような制度がある事を多くの方々に知っていただき、より多くの優れた学生が本学に入学していただけるよう、同窓の先生方には是非ご協力を賜わりたく存じます。

このスライドは、昨日の「歯科通信」ですが、国立保健医療科学院の安藤雄一先生のデータによると、2041年には歯科医は5,500人不足するという記事が載っております。厚労省も文科省も歯科医師会も、歯科医師を減らすべきとの見解を持っているようですが、このデータを考慮しますと、大学としても安易に定員を減らすなどということとはできないわけです。

今、新たに登院生の実習のやり方の見直しも行っています。超高齢社会を迎え、東京歯科大学の卒業生は全員、障害を持った方にも対応できるようにしようという教育目標を掲げております。

東京歯科大学市川総合病院では、医師と歯科医師の連携がよく取れている例として、他大学の先生方も見学にいらっしゃいます。本年、市川総合病院に静脈注射、採血、内視鏡検査、血圧測定等、

各種の検査、実習が行えるスキルスラボを設置致しました。ここでは登院生、研修医、看護師などが共に学び、同時にチーム医療の習得にも役に立つ様にカリキュラムを組んでいます。在校している学生の20年後を見据えた、臨床教育を行っています。

ここからは、法人の役員として、理事長に代わってご説明をさせていただきます。

同窓の先生方に、移転にあれだけ費用がかかって大学の収支の状況は大丈夫なのか、と大変ご心配をおかけしておりますが、対予算比で見ますと、平成26年度の決算は17億円の黒字で、消費増税のため去年に比べて約2億円少なくなっているものの、単科の歯科大学としては多いほうです。水道橋は1,300万円、千葉病院は3億円の赤字、市川総合病院は最終的な決算で3億円の黒字となっています。

歯科衛生士専門学校は、初めて黒字計上いたしました。現在、大学は現金としては約190億円現金で保有しておりますが、設備が膨大になっているため、減価償却のことを考慮すると、なかなか厳しい状況です。

法人の役員には、新たに法律顧問として五木田先生に入っていました。以前東京地検にいらした五木田先生からは、ご経験をもとに非常に厳しく貴重なご意見を戴いております。また三井物産やトヨタの監査役もなさっている松尾監事からは、理事会等においてかなり細かいご指摘も頂戴しております。

先程から何度かご説明させてい

ただき、ご寄付のお願いを申し上げます。2期計画でございますが、7つのビルの買収とそのテナントに対する処理に難儀し、建築費の非常な高騰にも苦慮しつつ、ようやく更地にして西棟を建設し、本館と西棟をつなぐ工事を行っているところですが、西棟とつなぐため、本館も一番新しい耐震基準に変えなくてはいけないということで、現在1階の病院受付の部分を含め、改修しております。その後、放射線、臨床検査、口腔外科のオペ室等の改修を行います。その時点で千葉校舎からの移転は完了いたします。その後、同窓会の本部が入っている南棟等に着手しなければなりません。次世代の方にお任せしたいと思っております。

千葉校舎と千葉病院に関しては、将来構想検討委員会を立ち上げて対応に当たっております。県・市の歯科医師会から、特に口腔外科等を充実させてもらいたいとの要望も受けておりますが、赤字を最小限に抑えるよう、苦慮しつつ対応しているところでございます。

また現在千葉校舎にあります歯科衛生士専門学校については、1年半後の短期大学化を目指し、文科省へ正式に申請をしております。本館14階に短大を設置し、定員50人で学生を募集いたします。3年制の短期大学として発足し、その後専修科の設置により大学卒の資格の取得も可能になります。

以上が学校の近況報告でございます。

ありがとうございました。

理事会のうごき

第6回理事会

平成27年12月19日（土）午後2時30分

於 特別会議室

出席 32名

議長 矢崎会長

会長挨拶

120周年記念式典・講演会・祝賀会は関係各位のご協力により歴史に残る素晴らしい催しとすることができた。

地域との連携についてはある程度の成果が得られているが、新入会員対策はまだ十分とは言えない。大学、地域と協力してさらに推進してゆきたいと考える。

この2年間の協力を感謝申し上げます。

黙 禱

札幌支部・松川清三氏はじめ13名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

会務報告ならびに承認

1) 平成27年11月26日から平成27年12月25日までの日程を報告。

2) 各部報告

- (1) 総務厚生部：①地域支部連合会長6名交代報告。②支部長6名交代報告。③支部長退任時の感謝状ならびに記念品の贈呈について6件報告。④逝去会員について規程により弔慰共済金を支給した旨の報告。⑤会費、共済負担金納入免除願いが2件提出され、受理した旨の報告。⑥平成28年度高齢会員該当者について報告。⑦平成28年度共済負担金免除会員該当者について報告。⑧罹災報告が1件提出され、罹災共済金を支給する旨の報告。⑨総務・厚生委員会報告。⑩ゴルフ大会委員会報告。⑪母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込み状況報告。⑫情報ネットワーク推進会議報告。⑬会務運営協議会報告。⑭東日本大震災対策部会報

告。⑮同窓会創立120周年記念事業実行委員会報告。⑯新進会員のつどい実行委員会報告。⑰平成27年度評議員会報告。⑱選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出報告。⑲同窓会事務局年

- 末年始日程報告。
- (2) 会計部：①平成27年度11月末日現況報告について説明、報告。②支部加入促進費の支出について報告。③評議員会経費について報告。④事務職員冬期期末手当について報告。
- (3) 渉外部：①渉外部委員会報告。
- (4) 広報部：①広報部委員会報告。②同窓会 HP アクセスレポート報告。
- (5) 事業推進部：①社会保障制度研究委員会報告。②若手ネットワーク委員会報告。③卒後研修委員会報告。④医療教養委員会報告。⑤臨床セミナー委員会報告。⑥アカデミア生涯研修企画会議報告。⑦アカデミア情報オンデマンド配信検討会報告。⑧ TDC 卒後研修セミナー2015 報告。⑨二校会主催若手研修セミナー報告。

協議事項

- 1) ホームページへの投稿・問い合わせについて協議、承認。
- 2) 推薦会員入会願いについて協議、2件承認。
- 3) 東日本大震災被災者に対する平成28年度会費・共済負担金免除の延長について協議、3件承認。
- 4) 平成27年度評議員会での質問、要望について、必要な事項の対応策を協議、承認。
- 5) 評議員会の決定事項を受け、東京歯科大学同窓会施行細則変更について協議、承認。
- 6) 各部および各地域からの次年度への申し送り事項について説明・提案、協議の結果承認。

承認事項

- 1) 同窓会事業継続のため早期に活動を開始しなければならない場合には現執行部が引き続き責任を負い、各処理は会長一任とする旨の提案があり、承認。

事業推進部

●学術委員会●

TDC アカデミア 2016 医療教養セミナー

リベラルアーツ・リレー講座

第1回 日韓食文化比較を通して見る「世界の中の日本食」



歯科医療の専門家，高度化が進む中で，専門職におけるリベラルアーツの重要性が最認識されています。そこで歯科医のための教養講座として今回は食をテーマとしたリレー講座が開催されました。

第1回目（平成28年1月28日開催）はお茶の水女子大学講師でフードコーディネーターである福留奈美先生の講演をお聞きしました。

日本と韓国には，共通する食材が多くあります。食事はそれぞれ「飯・汁・漬物」，「ハブ・クク・キムチ」を基本とし，ご飯に合うおかずとの組み合わせで献立が構成される点も似ています。しかし，食材の組み合わせや発酵調味料の使い方，盛り付けや食べ方の違いなど，異なる点も沢山あります。食文化は時間軸で見るとその様式がどの時代にどれくらい続いたのかをみてみることで空間軸で見るとこの村ではどうか隣村ではどうか



あるいはこの国ではどうか隣の国ではどうかと空間の広がりでの食文化を見たときにどれくらい共通な食文化を有している人たちがいるのかというのを見ていきます。

そこで同じアジアの国で隣同士の韓国と日本をみていくにあたって一つの事例としてゆずについて見てみるとヨーロッパでは日本の香りとして認識されています。

中国では韓国のゆず茶（砂糖漬けたもの）を飲むためゆずといえば韓国のものと認識しています。原産国はというと実はどちらも中国の山奥と考えられています。

日本では奈良時代にその記録がのこっています。ゆずをいつから作っているかというとその歴史は1963年から50年くらいでそれ程長いというわけではないようです。

そこで両国の違いは食べ方の違いで韓国は砂糖漬けて日本は果汁を絞って生であるいは器として使ったりします。

日本は青ゆずを使い夏の食材で，韓国は黄色いゆずを砂糖漬けて食べます。これは中国の宮廷料理ではちみつ漬けがあるのでその流れを受け継いでいるようです。

最近では日本でもゆず茶を作り



始めておりその文化は混じり始めています。

食文化は伝わり，互いに影響しあいそこにある程度年数をかけ広い地域で同じような様式のもが食べられるということと，周囲の認知度を得るとその土地に定着したと考えられます。

そのようにして出来上がった両国の食文化の違いを，献立の構成と食事の形態を比較し食材の選び方，調理法，調味料，盛り付け方，食べ方等の違いから両国の魚食文化や韓国の「醬」と日本の「味噌，醤油」の作り方の違いや日本と韓国の食の違いを漬物とキムチやトウガラシの使い方など詳細にわたり解説をしていただきました。日本の食材は季節により使い分けられ，ゆずのように夏場に使うことを知っていればその季節感を感じることができそうですが，知らないとも感じられません。

まさにリベラルアーツは知ることによって多くのことを感じ取れるということ，知っているか，または体験したかによってその微妙な違いを認識できるということです。

（取材・広報部 白田 準）

準会員のページ

Big Band Jazz 部

3年 主将 安藤雄太郎

今年度、我々 Big Band Jazz 部は、5月の定期演奏会を皮切りに、7月のマリンピア(稲毛海岸)での屋外演奏会、10月の東函祭でのコンサート、11月末に行われた同窓会創立120周年記念事業での演奏、12月のクリスマスコンサート、そして1月の同窓会東京地域支部連合会の新年会での演奏等、数多くの演奏の機会を頂きました。私達の演奏に足を運び、そして、つたない演奏に送って下さる温かい拍手に私達がどんなに励まされたことか、本当に感謝の気持ちで一杯です。

今こうして改めて一年を振り返ってみますと様々なことが思い起こされます。

クラブの執行部を引き継いでか

らは慣れないこと、わからないことだらけの中、模索しながら歩んで参りました。私共だけの力ではどうにもならぬことも多く、OB・OGの先輩方に演奏協力をいただき、諸先輩方のお力をお借りしながら、部員一同頑張っ参りました。殊に先輩方が同窓会等での演奏の機会を与えてくださったことは、私共がまた一つ成長してゆくチャンスであったと思えます。一つの演奏会を経験する毎に、未熟な私共もわずかながらも成長を実感することが出来ました。音楽が好き、ジャズが好きという、ただそれだけの心が、先輩方や私達を一つにまとめてくれそうな気がします。

さて、我々 Big Band Jazz 部は、

今年で創部16年目を迎えます。「人は続き、道は続く」、先輩方がここまで築いて下さったこの道を次の世代に繋いでいくことが出来るよう、部員一同精一杯精進していく所存です。物心両面で、先輩方が私達に与えて下さった全てを、私達も後輩に与えていこうと思えます。

最後になりましたが、日頃より部活動に深いご理解とご協力下さる大学関係者の皆様、そして常に温かく見守りご支援下さる諸先輩方の皆様に、心より感謝申し上げます。

今後とも、変わらぬご支援の程、宜しく願い致します。



支部のうごき

神奈川県支部連合同窓会

平成27年度 定時評議員会・
研修会・懇親会開催

12月6日(日)午後2時よりローズホテル横浜において平成27年度定時評議員会・研修会ならびに懇親会が開催された。

冒頭、杉山紀子会長が「総会の廃止に伴い今期よりこの評議員会が最高議決機関となった。評議員の先生方には今後ともご協力をお願いしたい。また今回から新しい試みとして母校の神奈川県在住の学生さんとそのご父兄、さらには連合同窓会には入会されていない先生方にも研修会ならびに懇親会へのお声掛けをした。これが将来の同窓会のさらなる充実につながることを期待したい。2期4年にわたり会長を務めさせて頂いたが、今期を以って退任したい。色々なことがあったが先生方のご協力に感謝する」と挨拶された。

続いてご来賓の財部正治本部同

窓会副会長、井出吉信学長、大山萬夫同窓会島村 大後援会会長よりそれぞれご挨拶をいただいた。

次に議長に佐藤秀夫評議員会会長、副議長に新倉良一評議員会副会長が登壇され、報告ならびに議事に入った。

各担当常務理事より諸報告が行われた後議事に移り、上程された5つの議案について会場の評議員から活発な意見や要望が出された。慎重なる審議の結果、賛成多数ですべての議案は可決承認された。また有近徳幸会長指名委員会委員長が「次期会長には、西山潔現常務理事を指名する」との報告があった。また監事には杉原惇現監事、高橋 庸現副会長が推挙され、それぞれ盛大な拍手を以って承認された。

続いての研修会は、母校口腔健康科学講座主任教授/障害者・口腔顔面痛研究室の福田謙一先生を



講師にお招きして「歯科医院における多様化する主訴への対応」と題しご講演いただいた。

研修会終了後、こちらも初の試みとして集合写真撮影が行われ、続いて懇親会が開催された。

浜野文夫相談役の乾杯の発声で開宴した懇親会は、途中敬老祝賀会員への記念品の贈呈や、今回初の試みであった学生さんたちの紹介も行われ、大変和やかな雰囲気の中、懇親の輪が広がった。最後に毎年恒例の全員で校歌を斉唱しお開きとなった。

(平成9年卒・宇佐美貴弘 記)



茨城県支部

平成27年度 総会・講演会・懇親会の報告

日時：平成27年12月6日（日）
場所：ホテルグランド東雲
（茨城県つくば市）

平成27年12月6日（日）、つくば市のホテルグランド東雲にて平成27年度茨城県支部総会、文化講演会ならびに懇親会を開催いたしましたのでご報告いたします。

開会に先立ちまして、本年9月の鬼怒川堤防決壊によって被災された五木田利明先生より、現況の報告と本部および支部からの支援に対する謝辞をいただきました。

その後、高野一夫幹事長の司会のもと逝去会員2名（塚原和男先生、石井研二先生）に黙祷を捧げ、大野勝己支部長の挨拶となりました。

続いて大学来賓として一戸達也

副学長からは大学現況報告をいただき、また平成28年度本校入試の概要及び平成27年度国家試験の結果のご報告をいただきました。

次に同窓会来賓として矢崎秀昭会長からは本部会務報告がなされ、先日開催された同窓会120周年記念式典ならびに講演会が盛大に執り行われたことをご報告いただきました。また、「若手支援ネットワーク」の活動状況、本部－支部とのIT情報伝達の確立状況、既存の同期会開催支援、セミナーのオンデマンド配信構想などについてご報告をいただきました。

総会では大金 誠議長のもと、会務や中間決算などの報告事項の後に議事に移り、それぞれの案件の承認を受け、無事終了しました。

コーヒードリンクの後、本会会

員の一木 努先生（昭和50年卒 筑西市開業）に「『かけら』集めて50年」と題して、文化講演を行っていただきました。

現役の歯科医師でありつつ、建物のカケラコレクターとして日本の建築業界にその名を知られる一木先生の『かけら』を通して、日本の歴史的建造物、そして高山歯科医学院までさかのぼった本学の歴史や建築物、人の繋がりに触れることができ、とても貴重で素敵な時間を過ごすことができました。

記念撮影の後に懇親会となり、美味しい御馳走と少々お酒も入り終始和やかな雰囲気での交流を楽しみ、校歌を斉唱してお開きとなりました。

（平成9年卒・長谷川洋人 記）



栃木県支部

平成27年度 総会の報告

平成27年12月6日（日）に宇都宮市のホテルニューイタヤにて同窓会本部より佐々木眞澄常任理事，大学より杉原直樹衛生学教授を来賓にお迎えし，平成27年度東京歯科大学栃木県支部定時総会が開催されました。

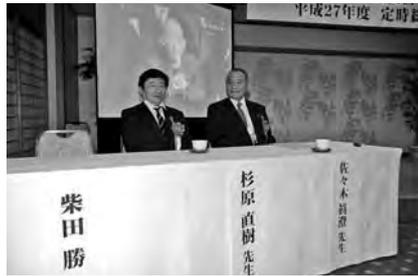
総会は湯澤邦裕常任幹事の司会進行のもと，築瀬 真副支部長の開会の言葉により始まりました。逝去会員への黙祷の後，菊地善郎支部長より栃木県支部の現況報告と挨拶がありました。次に来賓の佐々木眞澄先生より「同窓会の現状」，杉原直樹教授より「大学の状況」についてご報告とご挨拶を頂戴いたしました。

小滝正人先生の議長にて，各担当幹事より会務報告がなされ，また今年度は3名の新入会員があり，当日出席された小松俊一先生，吉澤大幹先生に自己紹介をしていただきました。

議事も順調に進み，役員改選に関しては，矢島俊助副支部長が新支部長として満場一致で決定されました。

黒田裕之副支部長の閉会の言葉により総会は終了となりました。

続いて行われた記念講演では『根面う触の予防的アプローチ - 診断基準，疫学的特徴，リスク



ファクター，予防-』という演題にて東京歯科大学衛生学講座教授杉原直樹先生によりご講演頂きました。活動的病変や非活動性病変の鑑別，治療時期，修復材料，予防法など，成人後期あるいは高齢者の根面う触の有病状況はますます増加することが予想されるため，今後の臨床のヒントとなるお話でした。

その後，部屋を移し懇親会が行われました。来賓の栃木県歯科医師会会長の柴田 勝先生よりご祝辞をいただきました。落合雅雄先生の乾杯の音頭で宴は始まりました。



和やかな雰囲気の中，交流を深めることができました。最後に恒例の平成ゴスペロール隊先導による東京歯科大学校歌斉唱。また今回は落合先生を中心に東京歯科大学予科逍遙歌『夕日は沈み』，東京歯科大学予科ストーム歌を歌い終了となりました。

（昭和63年卒・鈴木恵実 記）



横浜中央支部

平成27年度 総会・忘年会

平成27年11月28日ホテルインターコンチネンタルヨコハマグランドで平成27年度総会・忘年会を開催しました。

池田嘉徳専務理事の司会進行で安川 浩副支部長の開会の辞、今村雅郎支部長挨拶に続き、来賓の杉山紀子神奈川県支部連合同窓会会長に挨拶をいただきました。その後、総会へと移行し、会務報告、会員現況報告、敬老祝賀報告が

池田嘉徳専務理事より、会計現況報告が成瀬隆弘会計担当理事からあり、議事の平成26年度決算、平成28年度予算も満場一致で承認され総会は速やかに終了し、引き続き忘年会となりました。関 泰忠先生より挨拶および乾杯のご発声をいただき、宴会が始まりました。昨年と同じホテルの会場ではあるものの、本年は山側で、真下に観覧車のコスモクロック、そしてその周りに横浜の町並みが広

がって見える眺望の素晴らしい一室でした。ホテル自慢のフルコースの美味しい料理を味わいながら、終始和やかに相互に交流を深めました。

瞬く間に2時間は過ぎ、山田勝久副支部長から閉会の辞があり、集合写真撮影の後、散会となりました。

(昭和56年卒・池田嘉徳 記)



横浜鶴見支部

鶴見東歯会 忘年会開催

12月5日（土）午後7時より、鶴見中央の老舗中華レストラン「クーリン」において9名参加のもと、鶴見東歯会忘年会が開催された。

いつものように到着順に生ビールで乾杯。これぞ鶴見東歯会。

定刻となり、はじめに佐藤秀夫会長がいつもの爽やかな口調で挨拶した。挨拶の中で先の総会において佐藤会長の続投と、本年めでたく100歳を迎えられる平光雄先生が名誉会長に推挙された旨が報告され、大きな拍手が送られた。

改めて乾杯の時には生ビールの樽がすでに底をつき、瓶ビールがグラスに注がれた。森田正純先生の乾杯の発声で忘年会がスタート。



前菜のシャキシャキの「クラゲのサラダ」からプリプリの「海老チリ」、パリパリの「春巻き」、コリコリした「鶏肉のカシューナッツ炒め」、フワフワな「フカヒレの茶碗蒸し」にシェフからのサービス「牡蠣のオイスター炒め」はアツアツの「五目焼きそば」そしてデザート「黒糖の葛きり」

まで絶品中華のフルコースを思いのお酒と共に堪能し、会話も弾み、ゲラゲラ笑いながら今年一年の憂さを晴らした。

宴もたけなわであったが、あっという間に閉店時間となり、吉田礎久先生の閉会の辞を以ってお開きとなった。

（平成9年卒・宇佐美貴弘 記）



横浜南部支部

平成27年度 総会・懇親会開催

平成27年12月12日（土）18時より横浜市金沢区能見台のレストラン「山水」において平成27年度定時総会ならびに忘年会が開催された。

総会は浅川 仁専務理事の司会で開会され、鈴木信治支部長の挨拶のあと、ご来賓の杉之内俊郎神奈川県支部連合同窓会専務理事より連合同窓会の現況等の報告を兼ねたご挨拶をいただいた。ついで玉井達人相談役（現本部同窓会副会長）より本部報告がなされた。

次いで本会にご縁のある薬師寺仁母校名誉教授より、近況報告を兼ねたご挨拶を頂戴した。

引き続き会員現況報告ならびに会務報告を浅川専務理事が、厚生・学術報告を田中五郎理事が、会計現況報告を甲田正治理事が行った。

議案に移り、平成27年度各種報告が滞りなく満場一致で可決承認された。さらに次期支部長には、鈴木信治現支部長が大きな拍手とともに再任された。

引き続き協議事項として「支部代表として会合に出席した場合の費用について」が検討され、「支部長交際費は半額負担」が了承された。

総会后、当支部恒例のミニ講演会が行われた。今回は玉井達人相談役の「東京歯科大学



同窓会の現状、～玉井のひとり言～」という題でお話しいただいた。玉井先生は鈴木現支部長の前任で、6期11年の長きにわたって支部長を務められた。7期目に入るとき、ようやく支部長役を現鈴木支部長にバトンタッチし、やれやれやっと肩の荷が下りたと思ったのも束の間、今度は本部同窓会副会長の大役を任せられた。ご本人曰くまさに「青天の霹靂」ともいふべきこの事態に立ち至った経緯を、ご苦悩のうちにも楽しそうに語られた。

懇親会は今なお矍鑠としておられる山下正雄相談役の乾杯のご発



声で開始された。レストラン自慢の料理を堪能しながらそれぞれ懇親を深めたところでちょうど時間となり、山下 誠副支部長の閉会の辞でお開きとなった。

（昭和63年卒・
広報・渡邊宇一 記）



写真が同窓会ホームページ「<http://www.tdc-alumni.jp>」に掲載されています。

川崎支部

27年度 川崎水橋会会員家族レク

平成27年10月25日恒例の川崎水橋会会員家族レクリエーションが葦山反射炉と西伊豆の秘境の戸田漁港での高足がにのお食事という事で開催されました。

天候は快晴の青空のもと、川崎各地（川崎、武蔵小杉、溝の口）より、バスで東名道、新東名道を通り、沼津ICを降りて、最初の目的地である葦山反射炉に到着しました。以前に訪れた人のお話ですと閑散とした記憶があるようですが、さすがは日本で唯一現存する実用反射炉として世界遺産に登録されたばかりとあって、大変な混雑ぶりでした。明治時代の軍事のための鉄製砲を鑄造するために必要な溶解炉とのことで産業革命の一つとしての貴重な展示物の説



明を参加者も興味深く受けていました。

お腹もすいてきたところで、お待ちかねの戸田漁港での海鮮料理の昼食へと移動しました。目の前にきれいな海が広がる景色を見ながら名物の高足がにをはじめとした新鮮な海の幸の数々に皆さん満足され、会話もはずんでおりました。

お腹も落ち着いたところで沼津漁港での海産物お買い物の自由散



策へと移りました。とれたての海産物を豊富に取り揃えているお店が立ち並ぶ中、それぞれが有意義なお買い物を楽しんだ様子でした。

帰りは渋滞のため、予定より遅くなりましたが、参加者は楽しい1日を堪能した様子で帰路につきました。

（平成4年卒・中田伸一 記）



平成27年度 川崎水橋会総会・講演会・忘年会開催

平成27年12月5日(土)、川崎水橋会 総会・講演会・忘年会が「料亭-牡丹」にて開催された。

冒頭に古賀会長による水橋会今年一年の締め括りの丁寧な挨拶があり、平尾専務の司会進行のもと、フロアーから帛田先生が議長に選出された。名議長により以下、報告・議案は無事に承認され、来年度に希望を持ち水橋会の発展に会員一同協力を惜しまず努力すべく思いを一丸とした。また次期会長には関 暁子先生が満場一致で選出され、水橋会の今後に関して若手会員への抱負を述べられ、来年からのリニューアルに期待が掛かった。



1. 報告

- (1) 平成27年度会務報告
- (2) 平成27年度会計現況報告
- (3) 本部同窓会報告
- (4) 連合同窓会報告

2. 議案

- (1) 平成26年度決算(監査報告)
- (2) 平成28年度事業計画(案)について
- (3) 平成28年度予算(案)について
- (4) 会則一部改定について

(5) 任期満了に伴う会長選出について

今年度の講演会は「ワインを飲んで文化を語ろう」と題してドイツメルク社日本法人常任監査役木下勝実様に試飲を交えてドイツワインのお話をお聞きした。

ドイツワインの特徴というのは甘口のものが多く酸味が強くないことから、日本酒の特徴に似ているため日本人の味覚に合っている

らしい。箱舟に積んで洪水の引いたあとも、ノアが飲んで長寿を楽しんだという大昔から、僧院で銘酒が作られている今日でも、ドイツワインは神の酒である。など、ワインにまつわる話題を豊富に披露していただいた。

その後、忘年会が開催され、ほとんどの会員が二次会にも参加したようで、充実した年末の一日であった。

(昭和57年卒・鈴木幸一 記)



神奈川相北支部



平成27年11月7日(土)、ラポール千寿閣町田にて相北支部総会が開催された。今回は講演会の講師として矢郷 香 国際医療福祉大学准教授(昭和61年卒)をお迎えした。

総会は、関戸幹夫支部長の挨拶に始まり議長には前支部長の高橋捷治先生が選出された。庶務報告が菅谷公一理事より、会計報告が小島正裕理事より、監査報告が新倉良一理事よりなされ、賛成多数で承認された。

来賓挨拶では、杉山紀子神奈川県支部連合同窓会会長から、本部ならびに連合における今年の出来事等の話があった。

講演会は、“新規経口抗凝固薬

と新たな顎骨壊死を誘発する薬— 歯科治療で脳血管障害と顎骨壊死を起こさないために知っておくべきこと—”と題して矢郷講師より、日々の臨床に大変ためになる説明があり、短い時間の中で密度の濃い、久しぶりに勉強したなあという思いの講演であった。懇親会は、花上弘昭先生の乾杯で始まり、例年のごとく全員からスピーチをもらい、おいしい食事とお酒



を満喫して楽しいひとときを過ごした。

(昭和56年卒・渋谷浩一 記)



山梨県支部



平成27年12月12日（土）、甲府市内古名屋ホテルにて、東京歯科大学同窓会山梨県支部平成27年度定時総会が開催されました。

30名の会員が出席し、同窓会常任理事高野博子先生、パーシャルデンチャー補綴学講座教授山下秀一郎先生をお迎えいたしました。

総会は、末木 稔副支部長の開会の辞に始まり、三木正夫支部長の挨拶の後、高野先生より同窓会の現状について、山下教授より大学の現状について報告がありました。議事は長久保文夫議長のもと慎重かつ迅速に行なわれました。その後、山下教授より「欠損歯列に対する咬合からのアプローチ」

という内容で記念講演がありました。会場を移動し小倉 信先生の発声で乾杯し、ビール、甲州ワインを飲みながら懇親会が和やかな状態で進み、恒例のビンゴゲームなど楽しく行なわれました。

（昭和58年卒・矢崎 篤 記）



静岡県支部

総会報告

第75回静岡県支部定時総会が平成27年12月13日（日）にホテルアソシア静岡において70名の出席者により開催されました。同窓会本部より宮地建夫副会長にお越しいただき、同窓会の会務報告および大学の近況について紹介していただきました。血脇記念ホールでの入学式や卒業証書授与式の様子などもスクリーンに映し出されました。卒業証書授与式は以前とは様子が変わり、アメリカの青春映画で目にする四角い帽子とお揃いのガウンをまとった大学院生が卒業生と同席し、ホールの前方を占めていたのが印象的でした。松下茂支部長（昭和50卒）からは、昨年7月に22年振りの発行に至った静岡県支部沿革史Ⅱの原稿執筆や写真などの資料提供に対するお礼がありました。浅野尹男編集委員長（昭和45卒）の元、編集責任者の森 泰彦先生（昭和56卒）を中



心にして、貴重な写真をふんだんに使用したすばらしい沿革史ができましたので機会がありましたらお目通しいただければと思います。本当に残念なことですが大役を果たされた森先生が病に倒れ、懸命なりハビりに励んでおります。一刻も早く元気に回復されることを願っております。

今回の記念講演には東京医科歯科大学齶蝕制御学講座の非常勤講師であり浜松市で開業している田代浩史先生（平成11医科歯科大卒）を講師としてお招きし、『最先端のコンポジットレジン修復～齶蝕治療からダイレクトブリッジまで～』と題した講演をしていただきました。他大学卒の講師による講演は静岡県支部としては初の試みです。若手講師に臨床的な講演をしていただくことで、静岡県の若手同窓会員にも興味を持ってもらおうという松下支部長の狙いだったようです。松下執行部の努力の甲斐もあり、少しずつではありますが平成卒の同窓会員の出席が増えてきたように思います。講演では一般的なメタルフリー修復としてのカリエス処置の症例から、破折歯や離開歯列の修復症例、そしてダイレクトベニアに留まらずダイレクトクラウンひいてはダイレクトブリッジといった症例をレジン築盛テクニックの勘所の説明とともにきれいなスライドで供覧していただきました。

芦澤徹由副支部長（昭和51卒）による開会の辞に続き、松下支部

長のご挨拶で始まった懇親会には65名の参加がありました。引き続き、ご来賓の宮地副会長、柳川忠廣静岡県歯科医師会会長、小沢照雄同副会長（昭和51卒）、そして静岡県立大学短期大学部教授で本学同窓の田中丸治宣先生（昭和51卒）からそれぞれご挨拶をいただきました。その中で田中丸先生からは平成9年に赴任された静岡県立大学が来年の3月で定年を迎えるということもあり、これまでを振り返ったお話しを聴かせていただきました。喜田正昭先生（昭和34卒）による乾杯のご発声の後には、終始和やかな雰囲気と同窓ならではのひとときを過ごしました。親睦を深めあった楽しい夜は、次期支部長に決まった神田潤二副支部長（昭和50卒）の閉会の辞で終了となりました。

追記

当日撮影した集合写真のデータ破損により紙面に掲載できなくなっていました。ご出席いただいた先生方には、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

（平成6年卒・赤堀仁則 記）



喜田正昭先生と田代浩史講師

愛媛県支部

愛媛県支部総会、懇親会開催

12月5日(土)、松山全日空ホテルにて愛媛県支部総会が開催されました。関谷 栄専務理事司会進行のもと、校歌斉唱後、5月5日に御逝去された久保田 晃先生(享年77歳)に黙祷を捧げました。松木建二会長のご挨拶の後、来賓の先生方のご挨拶をいただきました。小池 修同窓会常任理事からは11月29日に開催された同窓会創立120周年式典が無事執り行われたこと、白須賀貴樹衆議院議員、島村 大参議院議員の後援会への協力、今後東京で行われた学術講演会の内容をインターネット上で閲覧できるようになることなどを、石原和幸微生物学講座教授からは、水道橋校舎での学生の様子、現在の学生の男女比、現在の講座編成、現在建築中の西棟についてお話をいただきました。その後、協議会報告、今年度の事業内容および会計報告、平成28年度事業計画および予算案が協議・承認され閉会となりました。

総会に続いて来賓の石原教授に「口腔細菌と健康-歯周病菌の病原性と全身の健康に与える影響について-」の演題で学術講演会をしていただきました。歯周病は、細菌因子だけでなく宿主因子、環境因子も関係する特殊な感染症であること、細菌性心内膜炎や誤嚥性肺炎を予防する上で口腔細菌に注意を払わなければならないことを再認識させられました。ま



た、歯周病の原因因子のうち細菌因子に焦点を当て、近年の歯周病に対する細菌因子の捉え方として菌叢(dysbiosis)が重要視されてきており、“keystone theory”について大変わかりやすくご講演いただきました。

懇親会も引き続き全日空ホテルにて行われ、宇都宮慎児先生司会のもと正岡勇記先生の乾杯のご発声により開宴しました。アトラクションにビンゴゲームが行われ、最新のポータブルテレビ、レイコップ等の豪華景品のほか、東歯賞(14等)として今年ご逝去され

た久保田 晃先生を偲んで新潟の銘酒“久保田万寿”が用意されました。美味しい料理を楽しみながら学年の垣根を越えて楽しいひと時を過ごし、山本昌司先生のご挨拶にて閉会となりました。懇親会には、総会に来賓された小池先生、石原先生のほか、愛媛県歯科医師会会長、他大の県支部の先生方にもご参加いただきました。お忙しいなか毎年多くの先生方にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

(平成24年卒・加藤博智 記)



クラス会だより

十二期会

昭和39年卒

西高東低の気圧配置の強まりと共に北から雪の便りが届く、11月27日～29日、十二期会50回目の大会を、同窓会創立120周年記念に合わせ、東京お台場ホテルグランパシフィックで開催。前夜祭は江戸前お台場に屋形船を浮かべ、夕映えの中、揚げ立ての天ぷらを囲み、久しぶりの顔と和み、翌28日、初冬の雲一つない晴天に恵まれた東京スカイツリーに向かう。標高350米の天望デッキからの台

東・墨田の下町、そして、隅田川に架かる橋々は、まさに鳥瞰図の世界、標高450米の天望回廊からは、丹沢山塊を前衛に従えて冠雪を頂く霊峰富士を西に見て、東に双耳峰の筑波を望む絶好の展望であった。夕刻よりホテルに於いて、会員40名出席のもと、卒業満50年に想いを馳せ、先立った友を偲び、また、今後の本会のあり方等について話しあった。29日、同窓会創立120周年記念事業の一環

として、同朋で山形大学名誉教授吉澤信夫君が永年「東京歯科大学の歴史と伝統を検証する会」での成果を、「高山紀齋、血脇守之助と同窓会の歴史探訪」と題する記念講演に耳を傾け、盛会だった50回目の東京大会の報告をする。

次回は平成28年4月22日（金）23日（土）、栃木県足利市での再会を約した。（牟田紀一 記）



踏 志 会

昭和41年卒



卒後50周年を迎え、50回記念踏志会が昨年11月28日にホテル、“ザプリンスパーク東京”にて開催された。当ホテルからは夜景、中でも東京タワー、レインボーブリッジは圧巻であった。同日、はとバスを貸切にし、希望者で東京スカイツリー観光を行い37名が参加した。総会、懇親会は午後7時に開会された。上竹会長の挨拶につづ

き、物故会員38名に黙祷を捧げ、会計報告、記念事業の協議が行われた。初代会長を務めた神谷氏の音頭「生存率5割の七十路半ばにあります。元気でいる5割に入られんことを祈念して」と“乾杯”があり、宮崎勝央カルテットによる校歌演奏が行われ、二代目会長の藍原氏の絶唱の後、懇親会となった。40分2ステージの演奏の

中で、盛り上がりを見せたことは云うまでもない。“上を向いて歩こう”の演奏時には故坂本 九氏の奥さん“柏木由紀子”さんがゲストとして来場し、賑わいだ。3時間に及ぶパーティも再度の校歌の演奏で閉会した。

(41名と夫人18名計59名参加)

(神谷文彦 記)



翔 蜻 会

昭和55年卒

平成27年11月28日に85期生「翔蜻会」が開催された。今回は我々の卒後35周年の節目ということもあり、還暦を中心に遠方からも総勢50名の参加となった。会場は中野正博君の口利きで、ホテルニューオータニ「シリウス」を早期に確保できた上、特例で酒類持ち込みという便宜もはかっていた。中野君に深謝する。総会は2年ぶりであったが、庶務報告、会計決算等の議事は滞りなく終了し、矢島安朝水道橋病院長の挨拶で懇親会が開会した。志賀君の軽妙な司会のもとに行われた出席者全員の1分間スピーチは、満場の笑いと暖かい(!?)野次を誘い、瞬く間に時が過ぎた。記念撮影の後、ほとんどはホテル内のバーに設けられた2次会場に移動

し、深更まで旧交を暖めあった。今回は同窓会創立120周年行事を意識し東京開催にしたが、次回は久しく行っていない地方開催も検討している。地区幹事の皆様何卒ご協力をお願いいたします。

(鈴木 勝 記)



水 真 会

昭和58年卒

2015年11月28日（土）、同窓会120周年記念会の前日に2年に1回開催している昭和58年卒のクラス会水真会総会をホテルメトロポリタンエドモントにて開催いたしました。

総会では、会長の小林慶太君が平成27年より日本歯科医師会の常務理事に就任し、当日公務にて四国出張のため欠席となり、副会長である鳥居一也君が会長の挨拶文の代読と自身の挨拶を行い開会となりました。2年間の各種報告の後、議事議案について慎重審議し、今後の事業計画、次期の予算また、役員が続投についても満場一致で可決承認されました。総会は滞りなく進行して閉会となり、続いて懇親会に移りました。

懇親会には名誉会員（水真会では卒業までにお世話になった学年主任、副主任の先生方を名誉会員とさせていただいております）である学年主任の町田幸雄名誉教授、副主任の伊藤彰人先生にご多忙の中ご出席いただきました。町田先生はご挨拶の中で今でも執筆活動をなさっており、また健康のため毎日往復2kmほどの距離を買い物がてらに歩いていると話されました。普段歩くことなど忘れていた会員からは「2kmも歩くのか!」と、驚きのため息が聞かれました。伊藤先生は気が付けばもう70歳になってしまったが勤務先ではいまだ現役で診療を続けており、また趣味の写真撮影でも

全国を飛び回っていると話され、撮影された作品をご持参下さいました。両先生とも卒業時とまったくお変わりなく見え、そろそろ還暦が見えてきた我々にとっては、「これからのお手本にしたいなあ…。」との感想が聞こえるようでした。

伊藤先生にはご挨拶に続き乾杯もお願いし、和気藹々の宴に移行いたしました。会も進み収拾がつかなくなる前に毎回恒例の全員の近況報告となり、卒業して32年子どもが自立し、夫婦でどう過ごしたらよいのか？戸惑っている人がいるかと思えば、子どもと一緒にお風呂に入ってくれなくなったことを嘆く人、「えっ！そんな趣味があったの?？」と意外な趣味を披露する人…等等、話が尽きないところで一次会はお開きとなりました。引き続き二次会会場に移動し、いつものことですが二次会出席予定人数と実数が合わ

ず、「二次会担当幹事はまあいいか」ってことになり、みんな文字通りひざを交えて仕事のこと、家庭のこと、健康のこと等など時を忘れて語り合いました。

日々いろいろな出来事も学生時代の頃を思い出して、あの時の気持ちに戻れば乗り越えられるような気がする楽しいひと時でした。「しばらく参加していないなあ…」とか「まだ、参加したことないや…」なんて思っている皆さん！そして、今回参加してくれた方々、ぜひ、再来年元気でおいでできるように、これからの2年間頑張ってください！！

また、翌日の同窓会の120周年記念会に出席された皆さん。お疲れさまでした。

今回の集合写真は真面目に撮影してみましたが、後方左側は相変わらず不真面目です！

（荻原俊美 記）



新 葉 会

昭和63年卒

昭和57年度 仁田原A組クラス会 開催

平成27年11月28日(土)、津田沼「鈴家」に仁田原一郎先生をお招きしてA組クラス会を開催いたしました。学年全体「新葉会」での会は何度も行っておりますが、いわゆる「教養課程」のクラス会は初めてとなります。会場は83歳になられた仁田原先生のご自宅の近くにしようと津田沼でということになりましたが、33年前のクラスメート13人が集まってくれました。

まずは近況報告から始まりまし



たが、開業医も勤務医も公務員も皆さんそれぞれのところで活躍されているということで、仁田原先生も安心してくださったのではないのでしょうか？その後昔話に花が咲き、Nくんの事件のことでは仁田原先生も身を乗り出して加わって下さいました。仁田原先生のみじみとしたお話を伺ってい

ると、まるで学生時代に戻った感じがしたのは私だけではないと思います。また50歳を過ぎて目上の方から教えられるということもなかなかないので、「初心」を思い出す良い機会になったような気がします。

(昭和57年度1年A組19番
古川由美子(旧姓 葛西)記)



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

クラス会開催

平成27年11月29日(日)、16時より、水道橋「たかの家」においてクラス会を開催いたしました。

今回は120周年記念行事の「二次会」的な会になるように企画しました。残念ながら記念行事に参加しながらもご都合でクラス会には参加できなかった方もいらっしゃいましたが、山本 仁母校教授をはじめ、この会からの参加者も加わり全部で14人集まり、近況報告や昔ばなしに盛り上がりました。

次回は、寺田仁志クラス代表の

鶴の一声で「横浜中華街グルメの旅」を計画することになりました。皆さま奮ってのご参加をお待

ちしております。

(渡邊宇一 記)



OB会・グループ・サークルだより

オーラルメディシン・口腔外科学講座 野村武史教授 就任祝賀会

平成27年4月1日よりオーラルメディシン・口腔外科学講座の教授に野村武史先生が就任されました。それを祝しまして10月9日（金）に飯田橋の「ホテルメトロポリタンエドモント東京」で教授就任祝賀会を開催いたしました。当日は水野理事長，井出学長をはじめ206名もの多くの方にご参加いただきました。

はじめに理事長の水野嘉夫先生，学長の井出吉信先生，口腔外科名誉教授の野間弘康先生からのご祝辞をいただき，市川総合病院病院長 西田次郎先生による乾杯の音頭で祝宴が始まりました。その後，口腔がんセンター 高野伸夫先生，口腔顎顔面外科学講座 柴原孝彦先生，オーラルメディシン・口腔外科学講座前教授 片倉



野村武史教授 就任祝賀会
東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科



朗先生よりご祝辞をいただきました。会は野村先生の人柄を反映し終始和やかな雰囲気で行われ、野村先生より謝辞をいただいた後

に閉会の運びとなりました。

（医局長 澁井武夫 記）



庶務日誌

1月

1) 理事会

1月16日(土) 第1回理事会

2) 委員会

1月6日(水) 事業推進部学術委員会
 8日(金) 事業推進部学術委員会
 12日(火) 会長, 副会長打合せ会
 13日(水) 広報部広報委員会
 24日(日) 第32回全国歯科大学同窓会・校友会
 学術担当者連絡会・第2回準備会
 25日(月) 総務・厚生部新進会員のつどい実行
 委員会
 25日(月) 事業推進部学術委員会
 26日(火) 事業推進部学術委員会
 28日(木) 会計部打合せ会

3) 出張

1月8日(金) 千代田支部新年会 矢崎会長出席
 16日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会
 矢崎会長出席
 17日(日) 東海地域支部連合会支部長会
 臼井専務理事, 国島理事出席
 24日(日) 東京医科歯科大学歯科同窓会新年名
 刺交換会 矢崎会長出席
 29日(金) 下谷・浅草支部合同新年会
 澁谷副会長出席
 29日(金) 芝支部総会 財部副会長出席
 31日(日) 三重県支部総会 澁谷副会長出席

4) 事業

1月13日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
 TDC 研修倶楽部
 20日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
 DSM
 28日(木) TDC アカデミア2016 医療教養
 リベラルアーツ・リレー講座

28日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修
 歯科臨床を語る会

31日(日) 新進会員のつどい

2月

1) 理事会

2月24日(水) 第1回常任理事会

2) 委員会

2月2日(火) オンデマンド配信検討会
 3日(水) 事業推進部学術委員会
 9日(火) 事業推進部学術委員会
 15日(月) 会務運営協議会
 15日(月) 広報部広報委員会
 16日(火) 事業推進部学術委員会
 24日(水) 事業推進部学術委員会
 26日(金) 二校会主催若手研修セミナー打合せ
 会

3) 出張

2月11日(木) 埼玉県支部新年会 矢崎会長出席
 14日(日) 岡山県支部総会
 学術講演会 講師・福田謙一教授
 (母校)
 19日(金) 東京地域支部連合会支部長会
 矢崎会長, 山口理事出席
 20日(土) 北多摩支部総会 矢崎会長出席

4) 事業

2月10日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
 TDC 研修倶楽部
 17日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
 DSM
 25日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修
 歯科臨床を語る会

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 51 卒	川 上 清 一 (63歳)	香川県高松市	27. 12. 7
●昭 27 卒	竹 花 和 朗 (92歳)	新潟県新潟市	27. 12. 7
●昭 20.9 卒	和 光 邦 公 (90歳)	千葉県千葉市	27. 12. 9
●昭 23 卒	近 藤 清 (90歳)	香川県坂出市	27. 10. 26
●昭 50 卒	衣 松 勅 生 (71歳)	千葉県千葉市	27. 12. 7
●昭 25 卒	本 山 博 (88歳)	千葉県松戸市	27. 11. 25
●昭 30 卒	小 林 正 幸 (84歳)	千葉県船橋市	27. 10. 3
●昭 34 卒	小 林 喜久子 (80歳)	長野県中野市	27. 12. 3
●昭 17.9 卒	佐 野 襄 介 (94歳)	静岡県湖西市	27. 12. 24
●昭 43 卒	栗 根 剛 夫 (73歳)	千葉県千葉市	27. 12. 24
●昭 37 卒	梅 田 尚 夫 (80歳)	千葉県千葉市	27. 12. 22
●昭 39 卒	石 田 鐵 男 (77歳)	兵庫県宝塚市	27. 12. 28
●昭 26 卒	大 森 直 樹 (89歳)	東京都練馬区	28. 1. 2
●昭 23 卒	佐 藤 充 弘 (88歳)	東京都新宿区	27. 12. 31
●昭 26 卒	風 間 五 郎 (88歳)	東京都世田谷区	28. 1. 3
●昭 18.9 卒	小 倉 脩 二 (93歳)	東京都杉並区	28. 1. 3
●昭 18.9 卒	菅 沼 孝 夫 (96歳)	長野県下伊那郡	28. 1. 14
●昭 41 卒	田 中 紀 夫 (75歳)	和歌山県和歌山市	28. 1. 16
●昭 35 卒	小 島 久 史 (82歳)	東京都渋谷区	28. 1. 17
●昭 27 卒	生 田 博 康 (86歳)	東京都練馬区	28. 1. 14
●昭 12 卒	佐 川 虎 雄 (102歳)	埼玉県熊谷市	28. 1. 19
●昭 25 卒	林 晉 (88歳)	愛知県常滑市	28. 1. 24
●昭 34 卒	伊 藤 清 (81歳)	愛知県名古屋市	28. 1. 23
●昭 33 卒	田 崎 之 光 (83歳)	茨城県水戸市	28. 1. 27
●昭 29 卒	松 本 實 (85歳)	大阪府堺市	28. 1. 19
●昭 25 卒	河 西 一 秀 (95歳)	東京都中央区	28. 1. 28
●昭 34 卒	塩 谷 明 (81歳)	新潟県新潟市	28. 1. 28
●昭 23 卒	野 本 種 邦 (90歳)	東京都小金井市	28. 2. 1
●昭 23 卒	生 原 醇 治 (91歳)	北海道苫小牧市	28. 2. 7
●昭 19.9 卒	會 田 眞 (93歳)	愛知県名古屋市	28. 2. 7
●昭 30 卒	江 崎 梅太郎 (84歳)	福岡県福岡市	28. 1. 28

追悼 松川清三君



ついに彼は逝った…との悲報を受けて札幌に飛んだ。

慌ただしく別れの2日間が過

ぎて行ったが呆然として夢でも見ている様であったが今愛知に帰ってきて彼の喪失にじわじわと打ちのめされている。

松川と僕は昭和42年春に大学を卒業するとすぐ、二人でロシア経由でヨーロッパに渡りヘルシンキを始点に5ヵ月間欧州全土を旅行した。

楽しくて又感傷的な青春の忘れられない思い出となった。爾来、半世紀に亘り合田 功君、飯島

和彦君ら同級生と、日本各地を旅して、交友の絆を深めた。大いに語り、飲んだ情景が今走馬灯の如く蘇る。失ってはならない、絶対に失いたくない友人を失ってしまった、惜別耐え難く痛恨極りない。

彼はこの数年色々な病を抱えていたので、その病苦から苦れるように永遠の旅を決意したのだろうか。

彼の実に穏やかな眠るが如く顔を見るにつけ、今は笑顔で咲き乱れる花の道をゆっくりと登っていく姿を想像する。

愛別離苦は人の世の定め、ならば僕は大きな声で叫びたい。

さようなら松川君！ありがとう

志学会(昭和42年卒)

清三君!!

(昭和42年卒・加藤 強 記)

追記

10月29日(木)松川君、家族と夕食時、突然胸部大動脈乖離の為倒れる、札幌大にて処置、蘇生したが、脳死状態。家族より11月5日連絡あり、肺炎、腎不全併発、低体温療法等で処置、11月14日見舞いに行くが意識なし、其の後3週間余自発呼吸していたが、11月21日2時6分、多臓器不全で息を引き取る。加藤君、飯島君にすぐ連絡、涙が止まらない、まことに残念。

(昭和42年卒・合田 功 記)



故人松川清三 松川清三 功

◆投稿規定

※平成26年度より、偶数月発行から年間4回（2，6，10，12月）の発行になりました。

- (1) 原稿締め切り
原稿の締め切りは、発行前月の10日までとし、原則として締め切り翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。ワープロ等電子機器使用の場合は1行15字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ（2Lなど）で集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (4) 写真等の返却
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真の場合は、その旨書き添えて下されば返却いたします。写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

(5) 投稿字数

投稿欄	内容	文字数, 備考
追悼	故人の追悼文	600字程度でお願いしています。
すいどうばし いなげ	随想, 詩, 短歌, 時評など	1編1,700字程度（1ページ）。投稿者本人にしか解らない思い入れや、取り止めのない随筆はご遠慮いただき、出来るだけ大学や同窓会に縁（ゆかり）あるものが望ましい。
支部のうごき クラス会だより		1ページ1,700字程度（1ページ以内でお願いします） 写真が入る場合下記を参考に文字数を減らしてください。 全員の集合写真は720字に相当、会場風景や大勢のスナップ写真は360字相当、数人のスナップ写真は120字相当で掲載します。 尚、同窓会ホームページよりひな型をダウンロードできますのでご利用下さい。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ

<http://tdc-alumni.jp/organization/dousoukai/kouhoubu/> をご覧下さい。

投稿送付書

郵送で投稿の方は下記送付書に内容を記載し、同封をお願いします。

お名前（漢字）		フリガナ	所属支部	支部
卒業年数（どれか1つ）	（昭和・平成・西暦） _____ 年卒 / _____ 期卒			
住所（自宅・勤務先）	〒 _____			
電話番号（自宅・連絡先）	-	-	FAX 番号	-
投稿先 <input type="checkbox"/> に <input checked="" type="checkbox"/> 印チェック	同窓会会報	<input type="checkbox"/> カラーグラビア	<input type="checkbox"/> 追悼	<input type="checkbox"/> 支部のうごき <input type="checkbox"/> すいどうばし <input type="checkbox"/> いなげ <input type="checkbox"/> クラス会だより
貼付写真枚数	枚			
その他ご希望	（例 写真の順番・重要度など）			

◆へんしゅうこうき

- ★この2月はインフルエンザが最も流行する時期です。今年にはA型とB型のピークが同時期に来ていること、さらに花粉症までが重なるということです。みなさん十分注意してください。皆さんもご存知のようにウイルスは乾燥し湿度が30%を下回ると爆発的に繁殖するといえます。そこで少し面白いと思った加湿器があります。千円ぐらいで買えるペットボトル仕様の超音波タイプでUSB電源のコンパクトな卓上用です。ペットボトルは洗いやすく清潔に保ちやすい特徴がとても気に入りました。そもそも加湿器は実は古くから中国に伝わるもので左右に取っ手のついた銅盆に水を張り取っ手をこすり摩擦によって振動させると水面が波打ち激しくなり水面から水滴が飛び散る現象をヒントに作られたようです。銅盆に入れた水と摩擦による振動周期が一致した時に起こるとい現象だそうです。圧電振動子を使いその周波数や水深などが噴霧の量に関係することを突き止めまたそれを7度に傾けるとさらに噴霧量が増えるということです。地道に研究して何か新しいことが見つかり絶えず進歩していることは何かワクワクします。
- ★2020年は東京オリンピックの年です。すでに「ホストタウン」の誘致合戦が始まっているということです。誘致が決まる条件の一つとしてその国との人材交流の繋がりが重要であるということです。ちなみにガーナは福島県猪苗代町に決定したそうです。ガーナといえば野口英世と関係の深いところです。ガーナでは今でも野口英世は尊敬され今回の決定に至ったようです。
- ★同窓会創立120周年記念事業も終わり今年度第三期矢崎執行部が誕生しました。アカデミア構想を通して人材育成がテーマです。今まで歴史にはあまり興味がなかったのですが120周年事業のおかげで同窓会の歴史を学ぶことができました。幕末から明治と激しく変わる世の中を生きのび多くの人達が新しいことにチャレンジしてきました、高山先生や血脇先生のようなフロンティア精神を持つ歯科界の最先端を走れる人材育成ができればと思います。
- ★同窓会120周年事業も大成功で終わりました。ただ時が経つのは早くその時の感動も薄れていきます。今後後世にこの事実を歴史として残すために記念誌の発行を6月ごろに予定しています。届きましたら是非お読みください。未来に向けての新たな歴史の始まりの第一歩です。(白田 準 記)

広報部広報委員会

委員長：昭和53年卒 白田 準
副委員長：昭和61年卒 福井 雅之
 ：平成7年卒 山口 雅史
委員 ：昭和58年卒 古澤 成博
 ：昭和60年卒 奥野 圭子
 ：昭和60年卒 佐々木 葉子
 ：昭和60年卒 皆川 雅彦
 ：昭和63年卒 渡邊 宇一
 ：平成3年卒 島田 篤
 ：平成4年卒 西村 哲雄
 ：平成10年卒 横田 東生

広報部担当理事：昭和56年卒 小池 修

平成28年2月20日 印刷	発行人 小 池 修
平成28年2月25日 発行	編集人 白 田 準
東京歯科大学同窓会会報 第403号	東京歯科大学同窓会
同窓会ホームページアドレス	〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18
http://www.tdc-alumni.jp	電話 (03) 5275-1761
	FAX (03) 3264-4859
	印刷所 一世印刷株式会社
	〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
	電話 (03) 3952-5651 (代)